

ePath のデータ要素と構造に関する仕様書

日本医療情報学会

2025 年 12 月

改訂履歴		
日付	バージョン	改訂内容
2021/11/18	Ver.1.0.0	JAMI標準承認版(非公表)
2022/02/02	Ver.1.0.1	誤表記等を修正したJAMI標準公表版
2023/11/30	Ver.1.0.2	誤記および項目定義とスキーマ定義との不整合箇所を修正
2024/03/29	Ver.1.1.0	外来パスの対応および臨床試験等のワークシートに対応するための項目追加。 <ul style="list-style-type: none">項目「入院情報」および「総合評価」を必須から省略可に変更外来パスに関する項目および臨床試験等のワークシートで用いる項目を追加
2025/12/10	Ver.1.2.0	外来パスの対応および臨床試験等のワークシートに対応するための項目追加。 <ul style="list-style-type: none">項目「観察項目結果値定義」の情報に入力必須、値丸め、説明文等の結果値入力に関する項目を追加項目追加に伴う「7.ePath データ XML スキーマ」の内容修正

※ 誤植や説明の追記、単純ミスの修正等は Ver.記述の最後の数字だけを更新する。

目 次

1.	はじめに	1
2.	適用範囲	1
3.	引用規格・引用文献	2
4.	主な用語	3
5.	ePath の考え方	3
5.1.	ePath の 4 つの段階	3
5.2.	OAT ユニット	4
5.3.	「ひな型パス」、「施設パス」、「適用後パスデータ」の内容の変化.....	6
5.4.	ひな型パスのバージョン	8
6.	ePath のデータ構造と項目	9
6.1.	ePath と ePath データ	9
6.2.	データ記述における前提	9
6.3.	定義表の記載の説明	9
6.4.	データ構造と項目定義.....	10
7.	ePath データ XML スキーマ (ePath メッセージ)	27
7.1.	状態：ひな型パス ePathMessage-01.xsd.....	27
7.2.	状態：施設パス ePathMessage-02.xsd	30
7.3.	状態：適用後パス ePathMessage-12.xsd.....	33
8.	ePath メッセージサンプル.....	40
9.	仕様策定メンバー.....	45
付録 1.	コード一覧.....	46
(1)	標準クリニカルパスコード	46
(2)	パス状態区分	46
(3)	医療機関コード	46
(4)	性別.....	46
(5)	診療科.....	47
(6)	YN 識別	47
(7)	パス終了区分	47
(8)	MEDIS-DC 標準病名マスタ管理番号.....	47
(9)	ICD10 標準病名コード.....	48
(10)	BOM 大分類コード	48
(11)	BOM 中分類コード	48
(12)	BOM アウトカムコード	48
(13)	BOM 観察項目分類コード	49
(14)	BOM 観察項目コード.....	49
(15)	タスク分類.....	49
(16)	実施状況.....	51
(17)	評価状況.....	51
(18)	入外区分.....	51

1. はじめに

クリニカルパス（以下、パス）は患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準療養計画書であり、広く普及してきている。アウトカム志向型パスは「アウトカム、観察項目、タスク」の3層構造からなり、診療プロセスをアウトカム項目中心に管理できると同時に、診療プロセス解析、アウトカム解析にも適している。日本クリニカルパス学会ではアウトカム志向型パスを推奨されている。しかしながら現在、電子カルテシステム上のパスは、システムベンダー間で解釈自体にバラつきがあり、パスの項目、構造ともベンダーで大きく異なっている。そのため、複数医療施設の間のパス項目の比較さえ困難な状況であった。

そこで、電子カルテシステムベンダーの間で相互運用性のあるパス標準システムを構築し、施設において診療プロセスをアウトカム項目中心に管理できるようにすると同時に、多施設から収集されるパスデータを蓄積して、診療プロセス解析、アウトカム解析を可能とすることを目的として、日本医療情報学会と日本クリニカルパス学会の合同委員会ならびに AMED 研究開発事業「クリニカルパス標準データモデルの開発および利活用」（代表: 副島秀久、H30 年度～R2 年度）にて本仕様（ePath）を開発した。ePath は「アウトカム-観察項目タスク(Outcome-Assessment-Task: OAT)」の組（OAT ユニットとよぶ）を基本単位としてパスデータを記述するものである。そして、本仕様の普及推進に向け日本医療情報学会では、ePath の構造の記述様式を定義し、定義したコードの体系に識別子（OID）を採番した。また、策定した仕様を維持し、配布を行う。また、合同委員会では、コード体系およびそのコード値について定義を行うと共に、継続的にこれらコード定義のメンテナンスを行うこととした。

なお、ePath ひな型パス、施設パス、適用後パス、適用パスデータ等の基本的な考え方の理解を深める運用ガイド「電子クリニカルパス作成・運用マニュアル」を作成し、ePath プロジェクトホームページ（<https://e-path.jp>）に公開しているので、参照されたい。

2. 適用範囲

本仕様書は、日本クリニカルパス学会により管理されるアウトカム志向型パスに関連する要素（アウトカム、観察項目、タスクなど）や OAT ユニットを対象として、ePath のデータ項目と構造を定義する。ePath は、段階に応じて内容が追記・変更される形で遷移し、下記の状態のデータを対象とした記述様式を定める。

- (1) ひな型パス：疾患別に定めたパスのひな型。疾患別のパスの原型
- (2) 施設パス：「ひな型パス」に施設固有部分を含めたパスで、施設公認のパス
- (3) 適用後パスデータ：適用後パスと、そこに記載された実施データ、評価データ

ePath データを格納するリポジトリの構造、格納方法やインターフェースについては、本仕様では規定しない。

3. 引用規格・引用文献

- 患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター（日本クリニカルパス学会）
<http://www.jscp.gr.jp/bom.html>
- 標準クリニカルパスコード（日本医療情報学会・日本クリニカルパス学会合同委員会）
<https://e-path.jp>
- 看護実践用語標準マスター「看護行為編」「看護観察編」（MEDIS-DC）
<https://www2.medis.or.jp/master/kango/index.html>
- ICD10 対応標準病名マスター（MEDIS-DC）
<https://www2.medis.or.jp/stdcd/byomei/>

4. 主な用語

- **ePath**
クリニカルパスの情報を段階に分けた際の「ひな型パス」、「施設パス」、「適用後パス」の電子的表現。
- **ePath データ**
クリニカルパスの情報を段階に分けた際の「適用後パスデータ」の電子的表現。「適用後パスデータ」は、クリニカルパスを患者に適用した後の、実施データ、評価データが記述された状態のことを指す。
- **BOM**
日本クリニカルパス学会で定めた患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター (Basic Outcome Master) の略語

5. ePath の考え方

5.1. ePath の 4 つの段階

「疾患別ひな型パス（ひな型パス）」は、疾患別のパスの原型であり疾患個々に存在する。「ひな型パス」を元に施設の実情にあわせて限定された範囲で調整したものを「疾患別施設パス」あるいは「施設パス」とよぶ。施設パスは施設特有部分を加えた施設の公認パスであり、アウトカムの追加や設定日数の変更などを行ったものである。さらに、施設パスに患者の個別性を追加し、患者個別に適切に設定したものが「適用後パス」である。適用後パスと、そこに記載された実施データ、評価データなどが「適用後パスデータ」である（図 1）。適用後パスと適用後パスデータは同じ構造のため **ePath** 構造は 3 種類であり、適用後パスは出力されず適用後パスデータが出力される。

これら 4 つのパスの「段階」を表 1 に示す。

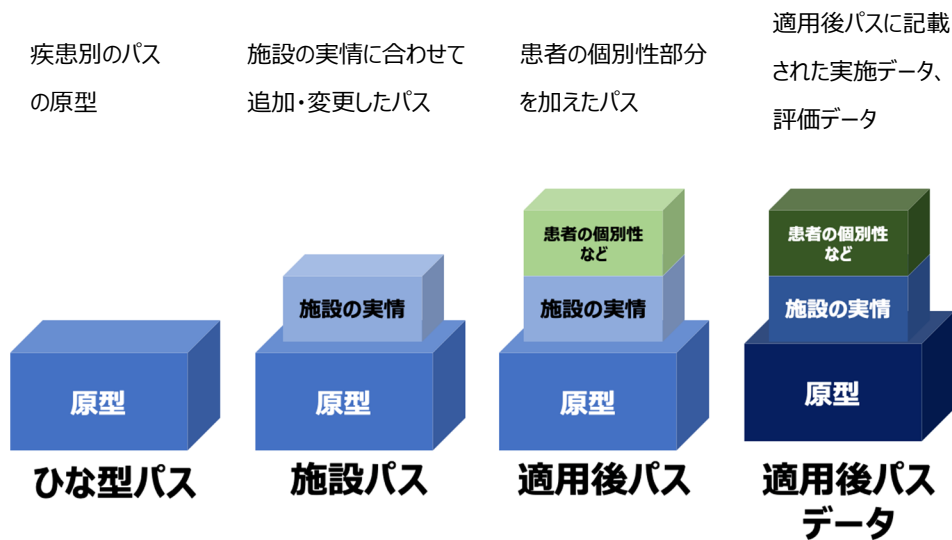


図 1 ひな型パス、施設パス、適用後パス、適用後パスデータの考え方

表 1 ひな型パス、施設パス、適用後パス、適用後パスの概要

No	名 称	概 要
1	ひな型パス	疾患別に定めたパスのひな型。疾患別のパスの原型
2	施設パス	「ひな型パス」に施設固有部分を含めたパスで、施設公認のパス
3	適用後パス	「施設パス」に患者の個別性部分を加えたもの。患者に適用し、入院日・病日等の日付項目を実日付に展開したパス
4	適用後パスデータ	適用後パスに記載された実施データ、評価データ

5.2. OAT ユニット

ePath は OAT ユニットの基本構造として記述される。OAT ユニットの構成要素であるアウトカム、観察項目、タスクは次のように説明される。図 2 に例を示す。

アウトカム (Outcome) : 患者の望ましい状態。例) 循環動態が安定している

観察項目 (Assessment) : アウトカムの評価のための判断基準。例) 血圧、脈拍、胸部違和感

タスク (Task) : アウトカム達成のために必要な行為、あるいはアウトカムが達成されたかを確認するための行為。例) 血圧測定、患者訴え聴取

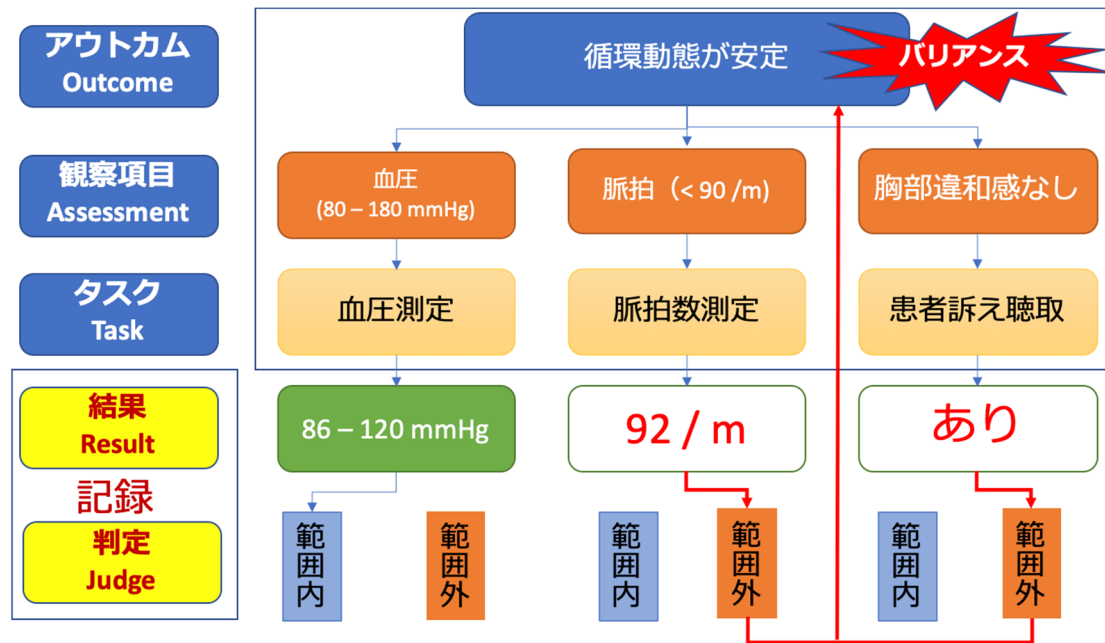


図2 アウトカム、観察項目、タスクの例

5.3. 「ひな型パス」、「施設パス」、「適用後パスデータ」の内容の変化

OAT ユニットの構成は、「ひな型パス」、「施設パス」、「適用後パスデータ」の間で差異を比較できるよう状態遷移を通して一意である必要がある。ePath の変化の様子の例を図 3 に示す。なお、図 3 には「適用後パス」(右から 2 列目) の状態も示している。

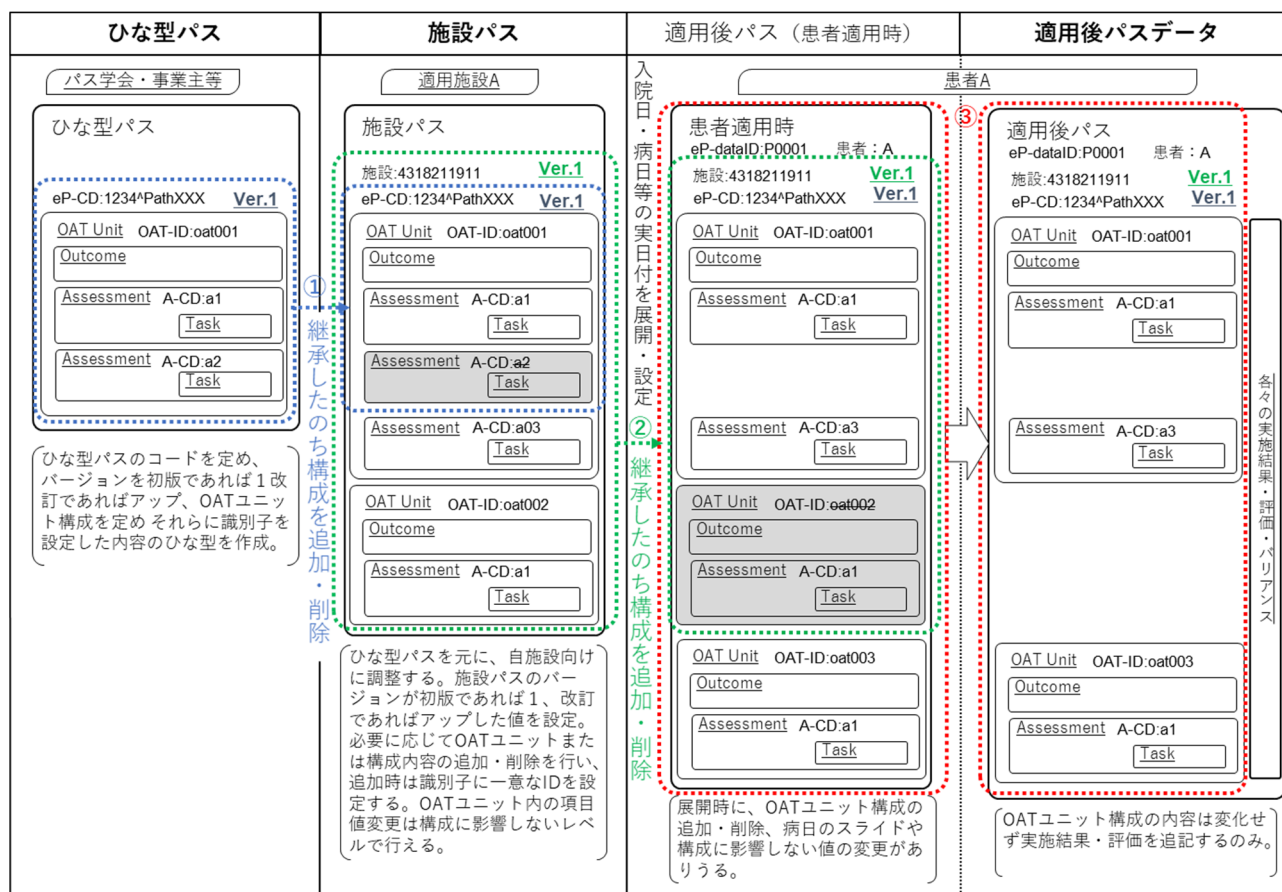


図 3 ひな型パス、施設パス、患者適用時と適用後パスデータ

ひな型パス、施設パス、適用後パスデータ、それぞれにおいてパス内容の設定の変更が生じる。ひな型パス、施設パス、適用後パスデータの設定(入力)の流れを図 4 に示す。ここでは、「ひな型パス」「施設パス」「適用後パスデータ」を出力することを想定している。

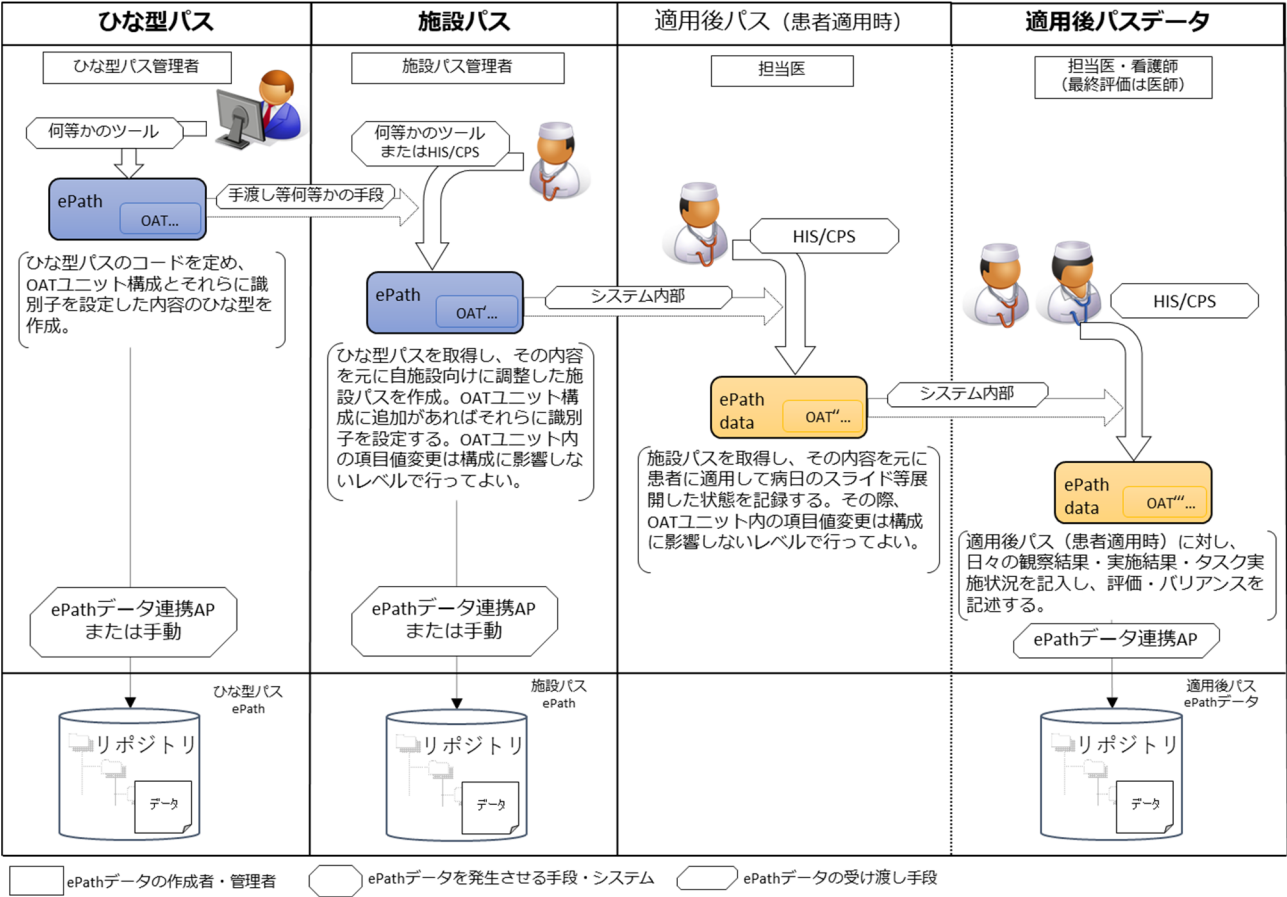


図 4 ひな型パス、施設パス、適用後パスデータにおけるパス内容の変化

5.4. ひな型パスのバージョン

「適用後パス」の適用元として「施設パス」があり、「施設パス」には継承元として「ひな型パス」がある。「ひな型パス」、「施設パス」とともに、使用経験を経て改訂されていくことが想定されるため、それぞれ「バージョン」が設定されている。「適用後パス」は、どのバージョンの「ひな型パス」、「施設パス」を適用したかを把握できるように、それぞれのバージョンを保持している。ひな型パスのバージョンの概念を、図 5 に例示する。

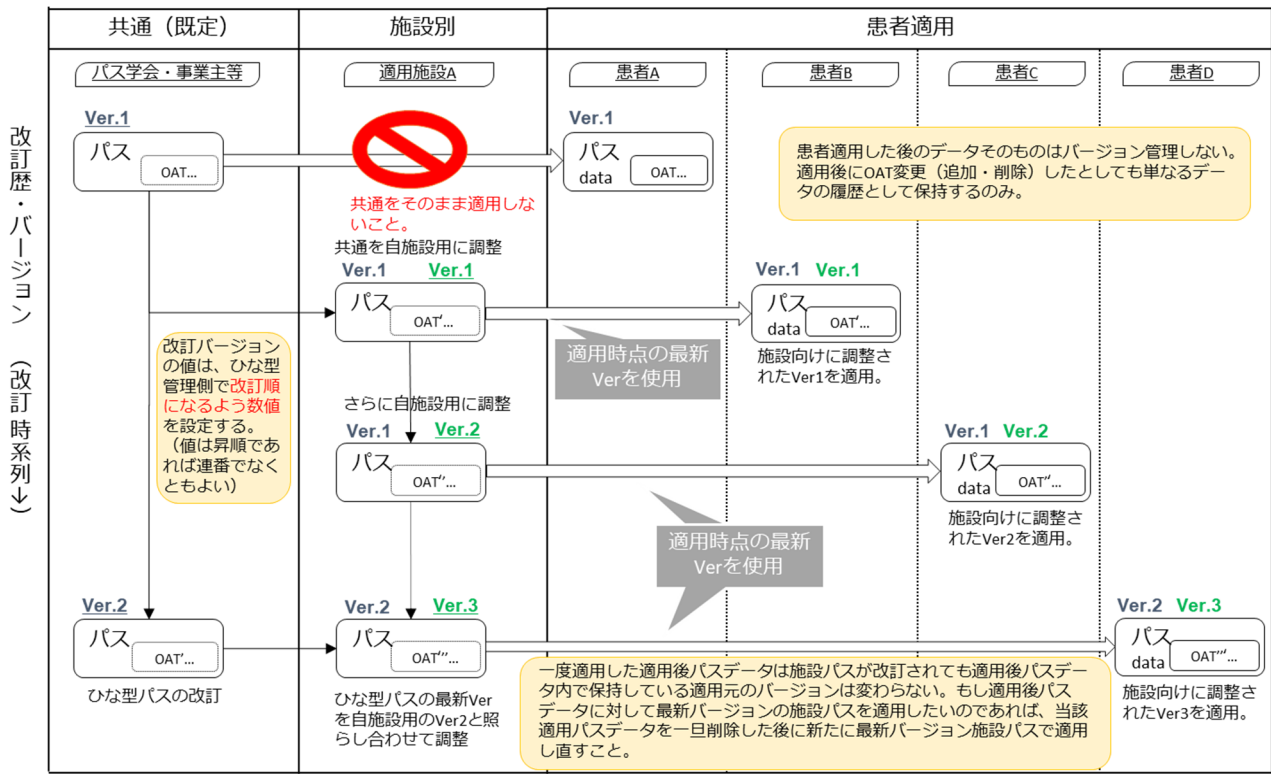


図 5 ひな型パスのバージョンと適用後パス

6. ePath のデータ構造と項目

6.1. ePath と ePath データ

ひな型パス、施設パス、適用後パスの電子的表現を **ePath** と呼ぶ。適用後パスデータは、**ePath** データである。**ePath** データは、患者へのパス適用開始から適用終了まで、時間軸に沿って内容が記入または変更される。

これら **ePath** および **ePath** データは、アウトカム・観察項目・タスク等の関連が階層構造で表現されることより、電子的表現は **XML** を用いた記述とする。

6.2. データ記述における前提

XML による **ePath** の記述において前提となる規則を下記の通り定める。

- (1) **XML** 宣言の記述において、バージョン(**version**)は「1.0」とし、文字符号化方式(**encoding**)は「UTF-8」とする。

記述例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
```

- (2) **XML** テキスト先頭に文字符号化固有のバイトオーダーマーク (**BOM**) を付与しないこと。
- (3) 要素内のテキストおよび属性の値に半角カナ文字を使用しないこと。

6.3. 定義表の記載の説明

時間軸に沿った状態遷移に従い内容が追記される形であることから、データ項目の定義は、状態毎に個別の表として各々定義するのではなく最終状態の項目（マックスセット）を定め、状態毎に多重度・設定要否を指定した1つの項目定義で表すものとする。

項目定義表を構成する列の意味を以下に示す。

- (1) 項番

項目の順序を表す番号。

- (2) 項目

データ構造、項目の名称。

- (3) 要素・属性名

データ構造、項目名を電子的表現したシンボル名。

XML を用いた記述では、項目を「要素」と「属性」で表現できるが、定義表においては「要素・属性名」と1つの列で表し、「属性」の場合はシンボル名の先頭に「@」（アットマーク）を付記することで「要素」と「属性」とを区別する。（先頭「@」の文字は **XML** で記述する際には付記しない）

「属性」のデータ型は文字列型（**XML** での「**xs:string**」）で表現し、取り得る値や書式の規定がある場合は「値・説明」に記載する。

(4) 状態別の多重度

状態毎の多重度（**cardinality**）および必須指定。「最小出現数.. 最大出現数」の形式で多重度を表現する。最小出現数が「0」の場合省略可を意味し「1」の場合は必須を意味する。最大出現数が「*」の場合最大数に制限がないことを意味する。項目が「属性」の場合、「2」以上の値または「*」は存在しない。

なお、状態別の多重度の表記でグレースアウトされているものは、その状態の項目は定義しないことを意味する。

(5) 値・説明

項目の意味や設定する値、形式、設定に用いるコード表・マスター等の説明。

6.4. データ構造と項目定義

ePath のデータ構造と項目定義を表 2 に示す。

表2 ePath のデータ構造と項目定義

項番	項目	要素・属性名 (先頭@は属性を意味する)	状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明
			疾患別	施設別	適用後	
1	ePath メッセージ	ePathMessage	1..1	1..1	1..1	ルート
1-1	パス識別情報	ePathIdentification	1..1	1..1	1..1	パスを識別する情報
1-1-1	パスコード・名称	code	1..*	1..*	1..*	疾病別ひな型パスを識別するコード 付録 1. コード一覧「標準クリニカルパスコード」より設定する。 パスコード・名称・コード体系は、コード一覧「標準クリニカルパスコード」を要素繰り返しの 1 番目に設定することを必須とし、さらに状態が施設パスとなった以降は、2 番目に施設等のローカル内で定めたローカルコード・名称・コード体系を設定することを必須とする。
		コード	1..1	1..1	1..1	標準クリニカルパスコード
		名称	1..1	1..1	1..1	標準クリニカルパス名称
		コード体系	1..1	1..1	1..1	対応するコード体系 OID 施設等のローカル内で定めたコード体系の場合、OID ではないローカル内で識別できる独自のシンボル値を設定してもよい。
1-1-2	パス状態区分	ePathStatusType	1..1	1..1	1..1	パスの状態を表す区分 付録 1. コード一覧「パス状態区分」より設定する。 例) 01：ひな型パス、02：施設パス、12：適用後パス
1-1-3	代替用途種別	alternativeUsesType	0..1	0..1	0..1	パスの代替用途の種別 ePath メッセージをワークシートとして用いる等、通常のクリニカルパスと区別する必要がある場合に代替体用途である識別としての種別を設定する。設定値は利用施設・運用主体等で定めたルールに則る。通常のクリニカルパスの場合は設定をしない。
1-1-4	ひな型パスバージョン	templateVersion	1..1	1..1	1..1	ひな型パスのバージョン。X.Y の形式で表す (X はメジャーバージョン、Y はマイナーバージョン)。マイナーバージョンを表す「.Y」部分は省略してもよい。 当メッセージの「パス状態区分」が「01：ひな型パス」の場合、自身のひな型のバージョンを、それ以外の場合は、継承元のひな型パスのバージョンを設定する。設定値はひな型の管理者が改訂に従い定めること。

項番	項目		要素・属性名 (先頭@は属性を意味する)	状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明
				疾患別	施設別	適用後	
1-1-5		施設パスバージョン	facilityTemplateVersion		1..1	1..1	施設パスのバージョン。X.Y の形式で表す (X はメジャーバージョン、Y はマイナーバージョン)。マイナーバージョンを表す「.Y」部分は省略してもよい。 当メッセージの「パス状態区分」が「02：施設パス」の場合は、自身のバージョンを、それ以外の場合は継承元の施設パスのバージョンを設定する。設定値は施設パスの管理者が改訂に従い定めること。
1-2		医療機関情報	facility		1..1	1..1	医療機関の情報
1-2-1		医療機関コード	id		1..1	1..1	医療機関を識別するコード（10 桁）。 付録 1. コード一覧「医療機関コード」より設定する。
1-2-2		医療機関名称	name		1..1	1..1	医療機関名称
1-3		患者基本情報	patient			1..1	患者の基本情報
1-3-1		患者 ID	id			1..1	当該施設における患者を一意に識別する 10 桁の英数字からなる ID
1-3-2		患者関連 ID	relatedId			0..*	患者 ID に紐づく他の ID 体系で表した ID 患者関連 ID は必ずしも施設単位で一意になるとは限らず、例えば標準パスコードを加えた中での一意ということもありうる。 当 ID は当該パス内で患者 ID との紐づけのために用いる。ID 体系、ID 値の設定値は利用施設・運用主体等で定め、これに則り設定する。
		ID 体系	@system			1..1	患者関連 ID の ID 体系を表すコード 利用施設・運用主体等ローカル内で定めたシンボル値を設定する。
		ID 値	@value			1..1	ID 体系での患者関連 ID 値
1-3-3		患者名	name			1..*	患者氏名・用途 患者氏名は「英語・ローマ字」「漢字名」「フリガナ」での表記方法があり、要素繰り返しの記述にて 3 つの患者氏名を表現する。 患者氏名の表記の区別は「用途」の設定値で判断し、以下の順序で記述すること。 1. 英語・ローマ字表記 2. 漢字（表意文字）表記 3. フリガナ（表音文字）表記

項番	項目			要素・属性名 (先頭@は属性を意味する)	状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明
					疾患別	施設別	適用後	
							英語・ローマ字表記：システムが英語表記のみである場合や英語表記の外国人の場合に漢字名の補助として半角文字で設定する。（省略可） 漢字（表意文字）表記：漢字名の設定を必須とする。外国人の場合など漢字名で表現できない場合、システムで管理している表意文字を全角文字で設定する。 フリガナ（表音文字）表記：患者氏名の読みを全角カタカナで設定する。外国人の場合やシステムでフリガナ表記が難しい場合を除き、設定することを強く推奨する。	
			用途	@use			1..1	患者名の表記方法を表すコード ABC：英語・ローマ字表記、IDE：漢字(表意文字)、SYL：フリガナ(表音文字)
			姓	family			1..1	姓と名の分離記述が出来ない場合、姓(family)部に記載してもよい。
			名	given			0..*	ミドルネームが存在する場合は要素繰り返して設定する。
			1-3-4	性別	administrativeGender			1..1
1-3-5	生年月日	birthdate			1..1	YYYYMMDD 表記		
1-4	入院情報			admission	0..1	0..1	0..1	パスを適用する際の入院情報。入院患者を前提としたクリニカルパスの場合は設定を必須とする。
1-4-1		診療科		clinicalDepartment		0..*	1..*	診療科を表すコード・名称 付録 1. コード一覧「診療科」より設定する。 要素繰り返しの記述で施設等のローカル内で定めたコードを追加で設定してもよい。但し、その場合コード一覧で定める「診療科」は 1 番目に設定すること。
			コード	@code		1..1	1..1	コード体系に基づく診療科コード
			名称	@displayName		1..1	1..1	コード体系に基づく診療科名称
			コード体系	@codeSystem		1..1	1..1	対応するコード体系 OID 施設等のローカル内で定めたコード体系の場合、OID ではないローカル内で識別できる独自のシンボル値を設定してもよい。
1-4-2	病名			disease	0..*	0..*	0..*	病名を識別するコード・名称 MEDIS-DC 標準病名、ICD10 の病名コード・名称は、下記の付録 1

項番	項目			状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明
				疾患別	施設別	適用後	
							コード一覧の項目より要素繰り返しで設定する。 1. MEDIS-DC 標準病名マスタ管理番号 2. ICD10 標準病名コード 要素繰り返しの順序もこれに沿って記述すること。 施設等のローカル内で定めたコードを追加で設定してもよい。但し、その場合、上記の標準病名コードは必ず1つは設定し、ローカルコードの記述順は繰り返しの最後になること。
		コード	@code	1..1	1..1	1..1	病名コード・管理番号
		名称	@displayName	1..1	1..1	1..1	病名
		コード体系	@codeSystem	1..1	1..1	1..1	対応するコード体系 OID 施設等のローカル内で定めたコード体系の場合、OID ではないローカル内で識別できる独自のシンボル値を設定してもよい。
1-4-3		入院日	admissionDate			1..1	YYYYMMDD 表記
1-4-4		退院日	dischargeDate			0..1	YYYYMMDD 表記
1-4-5		死亡有無	patientDeathIndicator			0..1	死亡有無を表すコード。付録 1. コード一覧の「YN 識別」で定めるコードを設定する。例) Y (死亡)
1-4-6		主要イベント情報	majorEvent	0..*	0..*	0..*	手術・治療/処置/主要検査などの主要となるイベントの情報 例)手術、内視鏡治療、放射線治療、内視鏡検査、心臓カテーテル検査、等
1-4-6-1		イベント名称	eventName	1..1	1..1	1..1	イベントに応じた術式・処置の名称
1-4-6-2		診療区分	category	0..1	0..1	0..1	(予約項目) 処方、処置、手術等の診療を識別するコード・名称・コード体系
		コード	@code	1..1	1..1	1..1	(予約項目) 診療区分
		名称	@displayName	1..1	1..1	1..1	(予約項目) 診療区分名称
		コード体系	@codeSystem	1..1	1..1	1..1	(予約項目) 対応するコード体系 OID
1-4-6-3		麻酔種別	anesthesiaCode	0..1	0..1	0..1	(予約項目) 処置、手術等で麻酔を用いた場合の麻酔の種別を表すコード・名称・コード体系

項番	項目				要素・属性名 (先頭@は属性を意味する)	状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明		
						疾患別	施設別	適用後			
				麻酔種別コード	@code	1..1	1..1	1..1	(予約項目) 麻酔種別コード		
				麻酔種別名称	@displayName	1..1	1..1	1..1	(予約項目) 麻酔種別名称		
				コード体系	@codeSystem	1..1	1..1	1..1	(予約項目) 対応するコード体系 OID		
1-4-6-4			病日	eventElapsedDays	1..1	1..1	1..1	入院日から起算した当イベントの日数。当日が 1 から始まる日数。入院日より過去を示す場合は-1(入院日前日)からの負数で表す。(値 0 は存在しない) 施設パスおよび適用後パス、適用後パスデータについては上記の通りであるが、ひな型パスについては OAT ユニットが設定された最初の日を 1 とし、その日から始まる日数となる。外来のケースにおいては、パス実施期間、開始日時の日を起算日とした当日が 1 から始まる日数を設定する。過去を示す場合は-1(開始日時の前日)からの負数で表す。また、4 週間など日数が明確でない場合においても日数に換算して設定する。(値 0 は存在しない)			
1-4-6-5			主要イベント日	eventDate			1..1	YYYYMMDD 表記			
1-4-6-6			主要イベント時間	eventTimePeriod			0..1	主要イベントの開始・終了時刻			
			開始時間	@low			1..1	YYYYMMDD[HH[MM[SS]]] 表記 時刻を設定できない場合は省略してもよい。 *表記の [] 内の時分秒は省略可能な形式を意味する。			
			終了時間	@high			0..1	YYYYMMDD[HH[MM[SS]]] 表記 時刻を設定できない場合は省略してもよい。 *表記の [] 内の時分秒は省略可能な形式を意味する。			
1-5			パス適用情報				ePathApply	1..1	1..1	1..1	パス適用における各種情報
1-5-1			パス適用基本情報				basicInformation	1..1	1..1	1..1	パス適用における基本情報
1-5-1-1	適用時パス識別子				id			1..1	患者適用したパスデータを一意に識別する ID 患者適用時に一意な識別子の設定を必須とする。 (オーダ No に相当する) 別患者や同一患者の別入院時に適用したパスの ID と重複してはならない。		
1-5-1-2	適応基準				adaptiveCriteria	1..1	1..1	1..1	パスの適応基準を満たしたかの確認情報		
	確認区分				@confirmed			1..1	1：適応基準を確認		

項番	項目				要素・属性名 (先頭@は属性を意味する)	状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明
						疾患別	施設別	適用後	
				内容	text	1..1	1..1	1..1	適応基準の内容。複数の要素で構成される基準であってもテキスト1文で表記する。
1-5-1-3				パス実施期間	implementationPeriod			1..1	パスの実施期間の開始・終了日
				開始日時	@low			1..1	パスを開始した日時。パスの適用開始日（時）。 YYYYMMDD[HH[MM[SS]]] 表記 時刻を設定できない場合は省略してもよい。 *表記の [] 内の時分秒は省略可能な形式を意味する。
				終了日時	@high			0..1	パスが完了・中止となった日時。 YYYYMMDD[HH[MM[SS]]] 表記 時刻を設定できない場合は省略してもよい。 *表記の [] 内の時分秒は省略可能な形式を意味する。
1-5-1-4				パス予定日数	scheduledDays	0..1	0..1	0..1	予定時のパス設定日数
1-5-1-5				パス終了区分	pathEndIndicator			1..1	パスの終了・中止を表すコード。付録 1. コード一覧「パス終了区分」より設定する。 例) 1: 終了、2: 中止
1-5-1-6				パス中止理由	pathCancelReason			0..1	パスを中止した際の中止理由コードおよび名称。パス終了区分が「2:中止」の場合のみ設定する。コード、名称の設定値は利用施設・運用主体等で定め、これに則り設定する。
				コード	@code			1..1	パスの中止理由コード
				名称	@displayName			0..1	パスの中止理由コード名称
				中止理由詳細	text			0..1	フリーテキスト
1-5-2				病日・イベント情報	event	1..*	1..*	1..*	病日または同一病日内でのイベントでの OAT ユニット集合体。同一病日において術前・術中・術後等のイベントが存在し得る。主要イベントとは病日で紐づく。 ※要素の出現順が時系列を表す。
1-5-2-1				パスステップ	pathStep	0..1	0..1	0..1	パスのステップ回数目、同一ステップにおける起算日等のステップ情報。複数の病日・イベント情報を一つのステップとして扱う場合、同一パスステップ内の項目値は全て同じ値を設定すること。
				ステップ回数目	@no	1..1	1..1	1..1	パスステップにおける回数目。 1 から始まるステップの回数目となる数値を設定する。

項番	項目				要素・属性名 (先頭@は属性を意味する)	状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明
						疾患別	施設別	適用後	
				名称	@name	0..1	0..1	0..1	パスステップの名称。
				入外区分	@inpatientOutpatientType	0..1	0..1	0..1	パスステップにおける患者の入院・外来を表す区分。 付録 1. コード一覧「入外区分」より設定する。 例) I: 入院、O: 外来
				開始日	@startDate			1..1	同ステップ回数目での起算日となる日付を設定する。 YYYYMMDD 表記。
1-5-2-2				病日	eventElapsedDays	1..1	1..1	1..1	入院日から起算した当イベントの日数。当日が 1 から始まる日数。 入院日より過去を示す場合は-1(入院日前日)からの負数で表す。(値 0 は存在しない) 施設パスおよび適用後パス、適用後パスデータについては上記の通りであるが、ひな型パスについては OAT ユニットが設定された最初の日を 1 とし、その日から始まる日数となる。 外来のケースにおいては、パス実施期間、開始日時の日を起算日とした当日が 1 から始まる日数を設定する。過去を示す場合は-1(開始日時の前日)からの負数で表す。また、4 週間など日数が明確でない場合においても日数に換算して設定する。(値 0 は存在しない)
1-5-2-3				イベントコード	eventCode	0..1	0..1	0..1	病日または同一病日内でのイベントを識別するコード コードの設定値は利用施設・運用主体等で定め、これに則り設定する。
1-5-2-4				イベント名	eventName	0..1	0..1	0..1	病日または同一病日内でのイベントの名称 例) 1 日目、2 日前、当日、1 日目術前、術前、術中、術後 visit1、vist2
1-5-2-5				許容経過日数条件	allowableElapsedDaysCondition	0..1	0..1	0..1	イベントの起点となる日からの許容経過日数の条件。 「当該イベントは起点日より n 日から m 日以内に設定する」等のイベントの許容経過日数に関する条件を表し、起点日の種別および許容経過日数の上限・下限値を設定する。
				起点日種別	@type	1..1	1..1	1..1	起点となる日の種別。 1:前回イベント 2:適用開始日 (パス開始日) 3:指定日付 種別が 3:指定日付のケースにおいて、パス状態が「適用後」の場合は指定起点日の設定値が起点日を表し、パス状態が「疾患別」また

項番	項目				要素・属性名 (先頭@は属性を意味する)	状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明
						疾患別	施設別	適用後	
									は「施設別」の場合は起点となる日をパス開始日から指定起点病日の経過日で求める形で表現する。
				指定起点病日	elapsedDays	0..1	0..1	0..1	起点日種別が 3:指定日付の場合に、起点となる日をパス開始日からの病日で設定する。
				指定起点日	startingDate			0..1	起点日種別が 3:指定日付の場合に指定する起点となる日を設定する。YYYYMMDD 表記
				許容日数期間	daysPeriod	1..1	1..1	1..1	起点日からの許容範囲となる経過日数の上限・下限値。
				下限值	@low	0..1	0..1	0..1	下限值となる日数。
				上限値	@high	0..1	0..1	0..1	上限値とする日数。
1-5-2-6				OAT ユニット	oatUnit	1..*	1..*	1..*	1つのアウトカムとそれに属する観察項目・タスク（実施結果・評価・バリエーション含む）を診療最小単位：ユニットとして表した情報
1-5-2-6-1				OAT ユニット識別	oatUnitIdentification	1..1	1..1	1..1	OAT ユニートを識別する情報
1-5-2-6-1-1				OAT ユニット識別子	id	1..1	1..1	1..1	OAT ユニートを一意に識別する ID テキスト表記の GUID、または当ひな型・データ内で一意となる任意のシンボル(例、「oat0001」)を設定する。 一意性の保証を容易にするためにパス適用時以降は GUID を設定することを推奨する。 ひな型、施設パス、適用時、適用後とパス状態が遷移する中で、パスの状態をまだがって変更点を判別することから 1 度設定した OAT ユニートの識別子は変更しないものとする。
1-5-2-6-1-2				発生時パス状態区分	ePathStatusType	1..1	1..1	1..1	当該 OAT ユニートの要素が新規に記述された際のパス状態区分 付録 1. コード一覧「パス状態区分」より設定する。 例) 01：ひな型パス、02：施設パス、12：適用後パス
1-5-2-6-1-3				関連 OAT ユニット識別情報	relOATUnitIds	0..*	0..*	0..*	当 OAT ユニートの先行ユニットを指し示す OAT ユニット識別子群。 一番先頭となる OAT ユニットは指し示すものがないため固定値「- (ハイフン)」を設定する。 ※OAT ユニット間の関係を厳密に表すための項目であるが、「予約

項番	項目				要素・属性名 (先頭@は属性を意味する)	状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明	
						疾患別	施設別	適用後		
									項目」とし本バージョンにおいては設定しなくともよい。	
1-5-2-6-2					アウトカム	outcome	1..1	1..1	1..1	アウトカムの情報
1-5-2-6-2-1					BOM 大分類コード・名称	category	0..1	0..1	0..1	BOM 大分類コード・名称 付録 1. コード一覧「BOM 大分類コード」より設定する。
					コード	@code	1..1	1..1	1..1	大分類コード
					名称	@displayName	1..1	1..1	1..1	大分類名称
					コード体系	@codeSystem	1..1	1..1	1..1	対応するコード体系 OID
1-5-2-6-2-2					BOM 中分類コード・名称	subcategory	0..1	0..1	0..1	BOM 中分類コード・名称 付録 1. コード一覧「BOM 中分類コード」より設定する。
					コード	@code	1..1	1..1	1..1	中分類コード
					名称	@displayName	1..1	1..1	1..1	中分類名称
					コード体系	@codeSystem	1..1	1..1	1..1	対応するコード体系 OID
1-5-2-6-2-3					アウトカムコード・名称	code	0..1	0..1	0..1	BOM アウトカムコード・名称 付録 1. コード一覧「BOM アウトカムコード」より設定する。 コード一覧で示すコード・名称が設定できない場合、施設等のローカル内で定めたローカルコード・名称・コード体系を設定してもよい。
					コード	@code	1..1	1..1	1..1	アウトカムコード
					名称	@displayName	1..1	1..1	1..1	アウトカム名称
					コード体系	@codeSystem	1..1	1..1	1..1	対応するコード体系 OID 施設等のローカル内で定めたコード体系の場合、OID ではないローカル内で識別できる独自のシンボル値を設定してもよい。
1-5-2-6-2-4					クリティカル・インデキータ	criticalIndicator	0..1	0..1	0..1	解析上、治療結果に重大な影響を与える、重要なアウトカム 付録 1. コード一覧「YN 識別」より設定する。 例) Y (対象)/N (非対象)
1-5-2-6-					予定外区分	unscheduled	0..1	0..1	0..1	当該アウトカムがイベント・病日の概念のない予定外(unscheduled)

項番	項目					要素・属性名 (先頭@は属性を意味する)	状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明
							疾患別	施設別	適用後	
2-5									であるかの識別。 付録 1. コード一覧「YN 識別」より設定する。 例) Y (予定外)/N (イベント[予定]内)	
1-5-2-6-2-6					リピート番号	repeatNo			0..1 イベント・病日の概念のないアウトカムを同一アウトカムでグループ化する場合の繰り返しの連番。または同一イベント内に同一アウトカムが複数ある場合の繰り返しの連番。 ・予定外区分(unscheduled)が「Y」の場合、全イベント内に存在する同一のアウトカムに対し各々1からの連番を重複がないよう設定する。 ・予定外区分(unscheduled)が「Y」でない場合、当該イベント内に存在する同一のアウトカムに対し各々1からの連番を重複がないよう設定する。 当該メッセージを外部出力等により確定させた場合、以後の修正において当項目値の変更および当該 OAT ユニットの削除を行わないこと。	
1-5-2-6-2-7					観察項目	assessment	1..*	1..*	1..*	アウトカムに対する観察項目群。要素の出現順が観察項目・タスクの順序を表す。
1-5-2-6-2-7-1					観察項目識別	assessmentIdentification	1..1	1..1	1..1	観察項目を識別する情報
1-5-2-6-2-7-1-1					発生時パス状態区分	ePathStatusType	1..1	1..1	1..1	当該観察項目の要素が新規に記述された際のパス状態区分。 付録 1. コード一覧「パス状態区分」より設定する。 例) 01：ひな型パス、02：施設パス、12：適用後パス
1-5-2-6-2-7-2					BOM 観察項目分類コード・名称	category	0..1	0..1	0..1	BOM 観察項目分類コード・名称 付録 1. コード一覧「BOM 観察項目分類コード」より設定する。
					コード	@code	1..1	1..1	1..1	観察項目分類コード
					名称	@displayName	1..1	1..1	1..1	観察項目分類名称
					コード体系	@codeSystem	1..1	1..1	1..1	対応するコード体系 OID
1-5-2-6-2-7-3					BOM 観察項目コード・名称	code	0..1	0..1	0..1	BOM 観察項目コード・名称 付録 1. コード一覧「BOM 観察項目コード」より設定する。

項番	項目						状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明
							疾患別	施設別	適用後	
										コード一覧で示すコード・名称が設定できない場合、施設等のローカル内で定めたローカルコード・名称・コード体系を設定してもよい。
					コード	@code	1..1	1..1	1..1	観察項目コード
					名称	@displayName	1..1	1..1	1..1	観察項目名称
					コード体系	@codeSystem	1..1	1..1	1..1	対応するコード体系 OID 施設等のローカル内で定めたコード体系の場合、OID ではないローカル内で識別できる独自のシンボル値を設定してもよい。
1-5-2-6-2-7-4					適正值	properValue	0..1	0..1	0..1	観察項目の評価基準となる適正值。疾患別ひな型パスで定める適正值、または施設等のローカル内で定めた適正值を設定する。
1-5-2-6-2-7-5					観察項目結果値定義	resultValueDefinition	0..1	0..1	0..1	観察項目、結果値の項目定義。 観察項目結果値の値型、桁数、選択値、最大・最小値等の属性や制約を定めた情報。 設定可能な内容や表現方法は施設・運用主体等のローカル内で定め、これに則り設定する。
					値型	dataType	0..1	0..1	0..1	結果値の値型。 例) 文字列、数値、日付、時刻
					値桁数	digits	0..1	0..1	0..1	結果値の有効桁数。
					値入力コントロール	inputControl	0..1	0..1	0..1	結果値を入力するコントロールの種類。 例) ラジオボタン、チェックボックス
					値書式	format	0..1	0..1	0..1	結果値の書式。 例) 「日付」型の場合に「YYYY-MM-DD」
					値単位	unit	0..1	0..1	0..1	結果値の単位。
					値範囲	valueRange	0..1	0..1	0..1	結果値の許容最小値・最大値
					最小値	@min	0..1	0..1	0..1	最小値。
					最大値	@max	0..1	0..1	0..1	最大値。
					選択値リスト	selectList	0..1	0..1	0..1	選択可能な結果値のリスト。
					選択項目	item	0..*	0..*	0..*	選択項目となる値およびラベル。

項番	項目							要素・属性名 (先頭@は属性を意味する)	状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明	
									疾患別	施設別	適用後		
								値	@value	1..1	1..1	1..1	選択値。
								値名	@valueDisplay	0..1	0..1	0..1	選択値の名称。説明やラベルとなる値を設定する
								必須	required	0..1	0..1	0..1	結果値の入力が必須であるかの識別。
								値丸め	rounding	0..1	0..1	0..1	導入元の数値を結果値に入力する際、四捨五入等の丸めが必要である場合の指示。
								不適切値設定許可	allowInvalidValue	0..1	0..1	0..1	入力値が指定範囲にない等の不適切値な値であっても値の設定を認めるかの識別。
								項目表示条件	visibleCondition	0..1	0..1	0..1	当項目が他の項目値によって表示・有効となる条件がある場合の指示。
								自動計算指示	autoCalc	0..1	0..1	0..1	結果値を計算式から自動計算する場合の指示。
								計算式	calcFormula	0..1	0..1	0..1	結果値を自動計算する場合の計算式。
								入力者制限	inputUserRestriction	0..1	0..1	0..1	結果値の入力が行える人、職種等の制限。
								承認要否	approval	0..1	0..1	0..1	結果値の設定に承認を必要とするかを識別する区分。
								説明	description	0..1	0..1	0..1	項目の説明や例示。
1-5-2-6-2-7-6								観察項目実施	execution			0..*	観察項目を実施した際の情報
1-5-2-6-2-7-6-1								評価状況	status			1..1	観察項目に対する評価状況を表す区分。付録 1. コード一覧「評価状況」より設定する。 例) 1：達成、2：未達成（バリエンス）、3：未評価
1-5-2-6-2-7-6-2								評価者	author			1..1	観察項目の実施における評価者
								評価日時	@datetime			1..1	YYYYMMDD[HH[MM[SS]]] 表記 時刻を設定できない場合は省略してもよい。 *表記の [] 内の時分秒は省略可能な形式を意味する。
								評価者名	@name			1..1	評価者名
								評価者職種	@job			1..1	評価者の職種
1-5-2-6-2-7-6-3								観察結果	observationResult			0..*	観察項目に対する結果値。観察項目に対して複数回測定するケースの場合は要素繰り返しで複数の結果値を設定する。複数の場合、要素の出現順が時系列を表す。

項番	項目							要素・属性名 (先頭@は属性を意味する)	状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明	
									疾患別	施設別	適用後		
								結果値	@value			1..1	観察項目に対する測定値 例) 「38.0」、「淡血性」 値の型が「2数値型」(BOMの表現タイプ)の場合は2つの値の間に「:(コロン)」を加え結合した文字列をセットする。
								結果値単位	@unit			0..1	測定値の単位 例) 「℃」 値の型が「2数値型」で単位が存在する場合は2つの値の間に「:(コロン)」を加え結合した文字列をセットする。
								測定日時	@datetime			0..1	観察結果を測定した日時。可能な限り設定すること。 YYYYMMDD[HH[MM[SS]]] 表記 時刻を設定できない場合は省略してもよい。 *表記の [] 内の時分秒は省略可能な形式を意味する。
1-5-2-6-2-7-6-4								修正情報	revised			0..*	観察結果の値を変更した際の記録 評価とは別に結果値を変更したことにより修正歴を残す必要がある場合に設定する。
								修正日時	@datetime			0..1	YYYYMMDD[HH[MM[SS]]] 表記
								修正者	@author			0..1	修正者
								内容	@note			0..1	修正事由等
								修正前値	@oldValue			0..1	修正前の値(変更前の observationResult.value 値)
1-5-2-6-2-7-7								タスク	task	0..1	0..1	0..1	タスク情報
1-5-2-6-2-7-7-1								タスク分類	category	1..1	1..1	1..1	タスクのカテゴリを識別するコード。付録1 コード一覧「タスク分類」に定めるコードを設定する。
1-5-2-6-2-7-7-2								タスクコード・名称	code	1..1	1..1	1..1	タスクを識別するコード・名称 本バージョン時点において標準または統一されたコード体系が定まっていないことから、施設等のローカル内でタスクを識別するコード・名称を定め、ローカルのコード体系で設定する。
								コード	@code	1..1	1..1	1..1	タスクコード
								名称	@displayName	1..1	1..1	1..1	タスク名称

項番	項目						要素・属性名 (先頭@は属性を意味する)	状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明		
								疾患別	施設別	適用後			
							コード体系	@codeSystem	1..1	1..1	1..1	対応するコード体系 OID またはローカル内でコード体系が識別できるシンボル値	
1-5-2-6-2-7-7-3							予定日時	planDate				0..1	YYYYMMDD[HH[MM[SS]]] 表記 時刻を設定できない場合は省略してもよい。 *表記の [] 内の時分秒は省略可能な形式を意味する。
1-5-2-6-2-7-7-4							実施日時	performedDate				0..1	YYYYMMDD[HH[MM[SS]]] 表記 時刻を設定できない場合は省略してもよい。 *表記の [] 内の時分秒は省略可能な形式を意味する。
1-5-2-6-2-7-7-5							オーダー種別	orderType				0..1	(予約項目) 医師によるオーダーの場合のオーダーを識別するコード
1-5-2-6-2-7-7-6							タスク実施	execution				0..1	タスクの実施状況
1-5-2-6-2-7-7-6-1							実施状況	status				1..1	実施状況を表す区分。付録 1. コード一覧「実施状況」より設定する。 例) 1：実施、2：未実施
1-5-2-6-2-7-7-6-2							実施者	author				1..1	観察項目の実施者
							実施日時	@datetime				1..1	YYYYMMDD[HH[MM[SS]]] 表記 時刻を設定できない場合は省略してもよい。 *表記の [] 内の時分秒は省略可能な形式を意味する。
							実施者名	@name				1..1	実施者名
							実施者職種	@job				1..1	実施者の職種
1-5-2-6-2-8							評価	judgement				0..1	評価情報
1-5-2-6-2-8-1							評価状況	status				1..1	アウトカムに対する評価状況を表す区分。付録 1 コード一覧「評価状況」に定めるコードを設定する。 例) 1：達成、2：未達成（バリエンス）、3：未評価
1-5-2-6-2-8-2							バリエンス記録	variance				0..1	未達成時の記録 達成されたアウトカムが「2：未達成」の場合のみ設定する。
							S	subjective				0..1	フリーテキスト
							O	objective				0..1	フリーテキスト

項番	項目							要素・属性名 (先頭@は属性を意味する)	状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明	
									疾患別	施設別	適用後		
1-5-2-6-2-8-3							A	assessment			0..1	フリーテキスト	
							P	plan			0..1	フリーテキスト	
							達成記録		achievement			0..1	達成時の記録 達成されたアウトカムが「1：達成」の場合のみ設定する。
							記録項目		item			1..*	記録の項目名・記録内容を設定する。
							項目名		@name			1..1	記録の項目名
							項目表示名		@nameDisplay			0..1	項目日本語名称等、「項目名」の値がシンボル化されている場合などに人が識別できる名称を設定する。
							項目値		value			0..1	項目設定値 1つの項目に対し設定する値が複数となる場合は、各々の値を「;(セミコロン)」で結合し1つの値として設定する。 ※各々の値には「;(セミコロン)」を混在しない前提であり、「;(セミコロン)」が存在する場合は複数の値を保持しているものとみなす。
							項目値名		valueDisplay			0..1	項目設定値名。「項目値」がコード値となるような場合にコード値の名称を設定する。 設定する値が複数の場合は「項目値」と同様の方法で1つの値に結合する。
							修正情報		revised			0..*	項目値を変更した際の記録
							修正日時		@datetime			0..1	YYYYMMDD[HH[MM[SS]]] 表記
							修正者		@author			0..1	修正者
							内容		@note			0..1	修正事由等
							修正前値		@oldValue			0..1	修正前の値（変更前の item.value 値）
1-5-2-6-2-8-4							記録者		author			1..1	評価の記録者
							記録日時		@datetime			1..1	YYYYMMDD[HH[MM[SS]]] 表記 時刻を設定できない場合は省略してもよい。 *表記の □ 内の時分秒は省略可能な形式を意味する。
							記録者名		@name			1..1	記録者名
							記録者職種		@job			1..1	記録者の職種

項番	項目				要素・属性名 (先頭@は属性を意味する)	状態別の多重度 (時系列⇒)			値・説明
						疾患別	施設別	適用後	
1-5-2-7				総合評価	compAssessment			0..1	病日毎の医師の総合評価 入院患者を前提としたクリニカルパスの場合は設定を必須とする。
1-5-2-7-1				評価	text			1..1	フリーテキスト
1-5-2-7-2				記録者	author			1..1	総合評価記録者
				記録日時	@datetime			1..1	YYYYMMDD[HH[MM[SS]]] 表記 時刻を設定できない場合は省略してもよい。 *表記の [] 内の時分秒は省略可能な形式を意味する。
				記録者名	@name			1..1	記録者名
				記録者職種	@job			1..1	記録者の職種

7. ePath データ XML スキーマ (ePath メッセージ)

「6.4. データ構造と項目定義」の「表 2 ePath のデータ構造と項目定義」に沿った、「ひな型パス」、「施設パス」、「適用後パス」の XML スキーマを以下に示す。

7.1. 状態：ひな型パス ePathMessage-01.xsd

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<xsd:schema targetNamespace="http://www.jscp.gr.jp/ePath" xmlns="http://www.jscp.gr.jp/ePath"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" elementFormDefault="qualified">
  <xsd:element name="ePathMessage">
    <xsd:complexType>
      <xsd:sequence>
        <xsd:element name="ePathIdentification">
          <xsd:complexType>
            <xsd:sequence>
              <xsd:element name="code" type="CodeType" maxOccurs="unbounded" />
              <xsd:element name="ePathStatusType" type="ePathStatusTypeType" />
              <xsd:element name="alternativeUsesType" type="xsd:string" minOccurs="0" />
              <xsd:element name="templateVersion" type="xsd:string" />
            </xsd:sequence>
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="admission" minOccurs="0">
          <xsd:complexType>
            <xsd:sequence>
              <xsd:element name="disease" type="CodeType" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
              <xsd:element name="majorEvent" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
                <xsd:complexType>
                  <xsd:sequence>
                    <xsd:element name="eventName" type="xsd:string" />
                    <xsd:element name="category" type="CodeType" minOccurs="0" />
                    <xsd:element name="anesthesiaCode" type="CodeType" minOccurs="0" />
                    <xsd:element name="eventElapsedDays" type="xsd:string" />
                  </xsd:sequence>
                </xsd:complexType>
              </xsd:element>
            </xsd:sequence>
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="ePathApply">
          <xsd:complexType>
            <xsd:sequence>
              <xsd:element name="basicInformation">
                <xsd:complexType>
                  <xsd:sequence>
                    <xsd:element name="adaptiveCriteria">
                      <xsd:complexType>
                        <xsd:sequence>
                          <xsd:element name="text" type="xsd:string" />
                        </xsd:sequence>
                      </xsd:complexType>
                    </xsd:element>
                    <xsd:element name="scheduledDays" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                  </xsd:sequence>
                </xsd:complexType>
              </xsd:element>
              <xsd:element name="event" maxOccurs="unbounded">
                <xsd:complexType>
                  <xsd:sequence>
                    <xsd:element name="pathStep" minOccurs="0">
                      <xsd:complexType>
```

```

        <xsd:attribute name="no" type="xsd:string" use="required" />
        <xsd:attribute name="name" type="xsd:string" />
        <xsd:attribute name="inpatientOutpatientType" type="xsd:string" />
    </xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:element name="eventElapsedDays" type="xsd:string" />
<xsd:element name="eventCode" type="xsd:string" minOccurs="0" />
<xsd:element name="eventName" type="xsd:string" minOccurs="0" />
<xsd:element name="allowableElapsedDaysCondition" minOccurs="0">
    <xsd:complexType>
        <xsd:sequence>
            <xsd:element name="elapsedDays" type="xsd:string" minOccurs="0" />
            <xsd:element name="daysPeriod" type="DaysPeriodType" />
        </xsd:sequence>
        <xsd:attribute name="type" type="xsd:string" use="required" />
    </xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:element name="oatUnit" maxOccurs="unbounded">
    <xsd:complexType>
        <xsd:sequence>
            <xsd:element name="oatUnitIdentification">
                <xsd:complexType>
                    <xsd:sequence>
                        <xsd:element name="id" type="xsd:string" />
                        <xsd:element name="ePathStatusType" type="ePathStatusTypeType" />
                        <xsd:element name="relOATUnitIds" type="xsd:string" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
                    </xsd:sequence>
                </xsd:complexType>
            </xsd:element>
            <xsd:element name="outcome">
                <xsd:complexType>
                    <xsd:sequence>
                        <xsd:element name="category" type="CodeType" minOccurs="0" />
                        <xsd:element name="subcategory" type="CodeType" minOccurs="0" />
                        <xsd:element name="code" type="CodeType" minOccurs="0" />
                        <xsd:element name="criticalIndicator" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                        <xsd:element name="unscheduled" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                        <xsd:element name="assessment" maxOccurs="unbounded">
                            <xsd:complexType>
                                <xsd:sequence>
                                    <xsd:element name="assessmentIdentification">
                                        <xsd:complexType>
                                            <xsd:sequence>
                                                <xsd:element name="ePathStatusType"
type="ePathStatusTypeType" />
                                            </xsd:sequence>
                                        </xsd:complexType>
                                    </xsd:element>
                                    <xsd:element name="category" type="CodeType" minOccurs="0" />
                                    <xsd:element name="code" type="CodeType" minOccurs="0" />
                                    <xsd:element name="properValue" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                                    <xsd:element name="resultValueDefinition" minOccurs="0">
                                        <xsd:complexType>
                                            <xsd:sequence>
                                                <xsd:element name="dataType" type="xsd:string" minOccurs="0"
/>
                                                <xsd:element name="digits" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                                                <xsd:element name="inputControl" type="xsd:string"
minOccurs="0" />
                                                <xsd:element name="format" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                                                <xsd:element name="unit" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                                                <xsd:element name="valueRange" type="MinMaxType"
minOccurs="0" />
                                            </xsd:sequence>
                                        </xsd:complexType>
                                    <xsd:element name="selectList" minOccurs="0">
                                        <xsd:complexType>
                                            <xsd:sequence>

```


[illegible]

```

</xsd:simpleType>
<xsd:complexType name="CodeType">
  <xsd:attribute name="code" type="xsd:string" use="required" />
  <xsd:attribute name="displayName" type="xsd:string" use="required" />
  <xsd:attribute name="codeSystem" type="xsd:string" use="required" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="DaysPeriodType">
  <xsd:attribute name="low" type="xsd:string" />
  <xsd:attribute name="high" type="xsd:string" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="MinMaxType">
  <xsd:attribute name="min" type="xsd:string" />
  <xsd:attribute name="max" type="xsd:string" />
</xsd:complexType>
</xsd:schema>

```

7.2. 状態：施設パス ePathMessage-02.xsd

```

<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<xsd:schema targetNamespace="http://www.jscp.gr.jp/ePath" xmlns="http://www.jscp.gr.jp/ePath"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" elementFormDefault="qualified">
  <xsd:element name="ePathMessage">
    <xsd:complexType>
      <xsd:sequence>
        <xsd:element name="ePathIdentification">
          <xsd:complexType>
            <xsd:sequence>
              <xsd:element name="code" type="CodeType" minOccurs="2" maxOccurs="unbounded" />
              <xsd:element name="ePathStatusType" type="ePathStatusTypeType" />
              <xsd:element name="alternativeUsesType" type="xsd:string" minOccurs="0" />
              <xsd:element name="templateVersion" type="xsd:string" />
              <xsd:element name="facilityTemplateVersion" type="xsd:string" />
            </xsd:sequence>
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="facility">
          <xsd:complexType>
            <xsd:sequence>
              <xsd:element name="id" type="xsd:string" />
              <xsd:element name="name" type="xsd:string" />
            </xsd:sequence>
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="admission" minOccurs="0">
          <xsd:complexType>
            <xsd:sequence>
              <xsd:element name="clinicalDepartment" type="CodeType" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
              <xsd:element name="disease" type="CodeType" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
              <xsd:element name="majorEvent" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
                <xsd:complexType>
                  <xsd:sequence>
                    <xsd:element name="eventName" type="xsd:string" />
                    <xsd:element name="category" type="CodeType" minOccurs="0" />
                    <xsd:element name="anesthesiaCode" type="CodeType" minOccurs="0" />
                    <xsd:element name="eventElapsedDays" type="xsd:string" />
                  </xsd:sequence>
                </xsd:complexType>
              </xsd:element>
            </xsd:sequence>
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="ePathApply">
          <xsd:complexType>

```

```

<xsd:sequence>
  <xsd:element name="basicInformation">
    <xsd:complexType>
      <xsd:sequence>
        <xsd:element name="adaptiveCriteria">
          <xsd:complexType>
            <xsd:sequence>
              <xsd:element name="text" type="xsd:string" />
            </xsd:sequence>
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="scheduledDays" type="xsd:string" minOccurs="0" />
      </xsd:sequence>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <xsd:element name="event" maxOccurs="unbounded">
    <xsd:complexType>
      <xsd:sequence>
        <xsd:element name="pathStep" minOccurs="0">
          <xsd:complexType>
            <xsd:attribute name="no" type="xsd:string" use="required" />
            <xsd:attribute name="name" type="xsd:string" />
            <xsd:attribute name="inpatientOutpatientType" type="xsd:string" />
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="eventElapsedDays" type="xsd:string" />
        <xsd:element name="eventCode" type="xsd:string" minOccurs="0" />
        <xsd:element name="eventName" type="xsd:string" minOccurs="0" />
        <xsd:element name="allowableElapsedDaysCondition" minOccurs="0">
          <xsd:complexType>
            <xsd:sequence>
              <xsd:element name="elapsedDays" type="xsd:string" minOccurs="0" />
              <xsd:element name="daysPeriod" type="DaysPeriodType" />
            </xsd:sequence>
            <xsd:attribute name="type" type="xsd:string" use="required" />
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="oatUnit" maxOccurs="unbounded">
          <xsd:complexType>
            <xsd:sequence>
              <xsd:element name="oatUnitIdentification">
                <xsd:complexType>
                  <xsd:sequence>
                    <xsd:element name="id" type="xsd:string" />
                    <xsd:element name="ePathStatusType" type="ePathStatusTypeType" />
                    <xsd:element name="relOATUnitIds" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                  </xsd:sequence>
                </xsd:complexType>
              </xsd:element>
            </xsd:sequence>
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="outcome">
          <xsd:complexType>
            <xsd:sequence>
              <xsd:element name="category" type="CodeType" minOccurs="0" />
              <xsd:element name="subcategory" type="CodeType" minOccurs="0" />
              <xsd:element name="code" type="CodeType" minOccurs="0" />
              <xsd:element name="criticalIndicator" type="xsd:string" minOccurs="0" />
              <xsd:element name="unscheduled" type="xsd:string" minOccurs="0" />
              <xsd:element name="assessment" maxOccurs="unbounded">
                <xsd:complexType>
                  <xsd:sequence>
                    <xsd:element name="assessmentIdentification">
                      <xsd:complexType>
                        <xsd:sequence>
                          <xsd:element name="ePathStatusType"
maxOccurs="unbounded" />
                        </xsd:sequence>
                      </xsd:complexType>
                    </xsd:element>
                  </xsd:sequence>
                </xsd:complexType>
              </xsd:element>
            </xsd:sequence>
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
      </xsd:sequence>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>

```

```

</xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:element name="category" type="CodeType" minOccurs="0" />
<xsd:element name="code" type="CodeType" minOccurs="0" />
<xsd:element name="properValue" type="xsd:string" minOccurs="0" />
<xsd:element name="resultValueDefinition" minOccurs="0">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="dataType" type="xsd:string" minOccurs="0" />
      <xsd:element name="digits" type="xsd:string" minOccurs="0" />
      <xsd:element name="inputControl" type="xsd:string" minOccurs="0" />
      <xsd:element name="format" type="xsd:string" minOccurs="0" />
      <xsd:element name="unit" type="xsd:string" minOccurs="0" />
      <xsd:element name="valueRange" type="MinMaxType" minOccurs="0" />
      <xsd:element name="selectList" minOccurs="0">
        <xsd:complexType>
          <xsd:sequence>
            <xsd:element name="item" minOccurs="0">
              <xsd:complexType>
                <xsd:attribute name="value" type="xsd:string" />
                <xsd:attribute name="valueDisplay" type="xsd:string" />
              </xsd:complexType>
            </xsd:element>
          </xsd:sequence>
        </xsd:complexType>
      </xsd:element>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:element name="required" type="xsd:string" minOccurs="0" />
<xsd:element name="rounding" type="xsd:string" minOccurs="0" />
<xsd:element name="allowInvalidValue" type="xsd:string" minOccurs="0" />
<xsd:element name="visibleCondition" type="xsd:string" minOccurs="0" />
<xsd:element name="autoCalc" type="xsd:string" minOccurs="0" />
<xsd:element name="calcFormula" type="xsd:string" minOccurs="0" />
<xsd:element name="inputUserRestriction" type="xsd:string" minOccurs="0" />
<xsd:element name="approval" type="xsd:string" minOccurs="0" />
<xsd:element name="description" type="xsd:string" minOccurs="0" />
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:element name="task" minOccurs="0">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="category" type="xsd:string" />
      <xsd:element name="code" type="CodeType" />
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>

```

```

        </xsd:sequence>
      </xsd:complexType>
    </xsd:element>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:simpleType name="ePathStatusTypeType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="01" />
    <xsd:enumeration value="02" />
    <!--
    <xsd:enumeration value="12" />
    -->
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:complexType name="CodeType">
  <xsd:attribute name="code" type="xsd:string" use="required" />
  <xsd:attribute name="displayName" type="xsd:string" use="required" />
  <xsd:attribute name="codeSystem" type="xsd:string" use="required" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="TimePeriodType">
  <xsd:attribute name="low" type="xsd:string" use="required" />
  <xsd:attribute name="high" type="xsd:string" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="DaysPeriodType">
  <xsd:attribute name="low" type="xsd:string" />
  <xsd:attribute name="high" type="xsd:string" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="MinMaxType">
  <xsd:attribute name="min" type="xsd:string" />
  <xsd:attribute name="max" type="xsd:string" />
</xsd:complexType>
</xsd:schema>

```

7.3. 状態 : 適用後パス ePathMessage-12.xsd

```

<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<xsd:schema targetNamespace="http://www.jscp.gr.jp/ePath" xmlns="http://www.jscp.gr.jp/ePath"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" elementFormDefault="qualified">
  <xsd:element name="ePathMessage">
    <xsd:complexType>
      <xsd:sequence>
        <xsd:element name="ePathIdentification">
          <xsd:complexType>
            <xsd:sequence>
              <xsd:element name="code" type="CodeType" minOccurs="2" maxOccurs="unbounded" />
              <xsd:element name="ePathStatusType" type="ePathStatusTypeType" />
              <xsd:element name="alternativeUsesType" type="xsd:string" minOccurs="0" />
              <xsd:element name="templateVersion" type="xsd:string" />
              <xsd:element name="facilityTemplateVersion" type="xsd:string" />
            </xsd:sequence>
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="facility">
          <xsd:complexType>
            <xsd:sequence>
              <xsd:element name="id" type="xsd:string" />
              <xsd:element name="name" type="xsd:string" />
            </xsd:sequence>
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
      </xsd:sequence>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>

```

```

</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:element name="patient">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="id" type="xsd:string" />
      <xsd:element name="relatedId" type="IdType" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
      <xsd:element name="name" maxOccurs="unbounded">
        <xsd:complexType>
          <xsd:sequence>
            <xsd:element name="family" type="xsd:string" />
            <xsd:element name="given" type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
          </xsd:sequence>
          <xsd:attribute name="use" use="required">
            <xsd:simpleType>
              <xsd:restriction base="xsd:string">
                <xsd:enumeration value="IDE" />
                <xsd:enumeration value="SYL" />
                <xsd:enumeration value="ABC" />
              </xsd:restriction>
            </xsd:simpleType>
          </xsd:attribute>
        </xsd:complexType>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="administrativeGender">
        <xsd:simpleType>
          <xsd:restriction base="xsd:string">
            <xsd:enumeration value="F" />
            <xsd:enumeration value="M" />
            <xsd:enumeration value="UN" />
          </xsd:restriction>
        </xsd:simpleType>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="birthDate" type="xsd:string" />
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:element name="admission" minOccurs="0">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="clinicalDepartment" type="CodeType" maxOccurs="unbounded" />
      <xsd:element name="disease" type="CodeType" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
      <xsd:element name="admissionDate" type="xsd:string" />
      <xsd:element name="dischargeDate" type="xsd:string" minOccurs="0" />
      <xsd:element name="patientDeathIndicator" minOccurs="0">
        <xsd:simpleType>
          <xsd:restriction base="xsd:string">
            <xsd:enumeration value="Y" />
            <xsd:enumeration value="N" />
          </xsd:restriction>
        </xsd:simpleType>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="majorEvent" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
        <xsd:complexType>
          <xsd:sequence>
            <xsd:element name="eventName" type="xsd:string" />
            <xsd:element name="category" type="CodeType" minOccurs="0" />
            <xsd:element name="anesthesiaCode" type="CodeType" minOccurs="0" />
            <xsd:element name="eventElapsedDays" type="xsd:string" />
            <xsd:element name="eventDate" type="xsd:string" />
            <xsd:element name="eventTimePeriod" type="TimePeriodType" minOccurs="0" />
          </xsd:sequence>
        </xsd:complexType>
      </xsd:element>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>

```

```

</xsd:element>
<xsd:element name="ePathApply">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="basicInformation">
        <xsd:complexType>
          <xsd:sequence>
            <xsd:element name="id" type="xsd:string" />
            <xsd:element name="adaptiveCriteria">
              <xsd:complexType>
                <xsd:sequence>
                  <xsd:element name="text" type="xsd:string" />
                </xsd:sequence>
                <xsd:attribute name="confirmed" type="xsd:string" use="required" />
              </xsd:complexType>
            </xsd:element>
            <xsd:element name="implementationPeriod" type="TimePeriodType" />
            <xsd:element name="scheduledDays" type="xsd:string" minOccurs="0" />
            <xsd:element name="pathEndIndicator" type="xsd:string" />
            <xsd:element name="pathCancelReason" minOccurs="0">
              <xsd:complexType>
                <xsd:sequence>
                  <xsd:element name="text" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                </xsd:sequence>
                <xsd:attribute name="code" type="xsd:string" use="required" />
                <xsd:attribute name="displayName" type="xsd:string" />
              </xsd:complexType>
            </xsd:element>
          </xsd:sequence>
        </xsd:complexType>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="event" maxOccurs="unbounded">
        <xsd:complexType>
          <xsd:sequence>
            <xsd:element name="pathStep" minOccurs="0">
              <xsd:complexType>
                <xsd:attribute name="no" type="xsd:string" use="required" />
                <xsd:attribute name="name" type="xsd:string" />
                <xsd:attribute name="inpatientOutpatientType" type="xsd:string" />
                <xsd:attribute name="startDate" type="xsd:string" use="required" />
              </xsd:complexType>
            </xsd:element>
            <xsd:element name="eventElapsedDays" type="xsd:string" />
            <xsd:element name="eventCode" type="xsd:string" minOccurs="0" />
            <xsd:element name="eventName" type="xsd:string" minOccurs="0" />
            <xsd:element name="allowableElapsedDaysCondition" minOccurs="0">
              <xsd:complexType>
                <xsd:sequence>
                  <xsd:element name="elapsedDays" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                  <xsd:element name="startingDate" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                  <xsd:element name="daysPeriod" type="DaysPeriodType" />
                </xsd:sequence>
                <xsd:attribute name="type" type="xsd:string" use="required" />
              </xsd:complexType>
            </xsd:element>
            <xsd:element name="oatUnit" maxOccurs="unbounded">
              <xsd:complexType>
                <xsd:sequence>
                  <xsd:element name="oatUnitIdentification">
                    <xsd:complexType>
                      <xsd:sequence>
                        <xsd:element name="id" type="xsd:string" />
                        <xsd:element name="ePathStatusType" type="ePathStatusTypeType" />
                        <xsd:element name="relOATUnitIds" type="xsd:string" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded" />
                      </xsd:sequence>
                    </xsd:complexType>
                  </xsd:element>
                </xsd:sequence>
              </xsd:complexType>
            </xsd:element>
          </xsd:sequence>
        </xsd:complexType>
      </xsd:element>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>

```

```

</xsd:element>
<xsd:element name="outcome">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="category" type="CodeType" minOccurs="0" />
      <xsd:element name="subcategory" type="CodeType" minOccurs="0" />
      <xsd:element name="code" type="CodeType" minOccurs="0" />
      <xsd:element name="criticalIndicator" type="xsd:string" minOccurs="0" />
      <xsd:element name="unscheduled" type="xsd:string" minOccurs="0" />
      <xsd:element name="repeatNo" type="xsd:string" minOccurs="0" />
      <xsd:element name="assessment" maxOccurs="unbounded">
        <xsd:complexType>
          <xsd:sequence>
            <xsd:element name="assessmentIdentification">
              <xsd:complexType>
                <xsd:sequence>
                  <xsd:element name="ePathStatusType"
type="ePathStatusTypeType" />

                </xsd:sequence>
              </xsd:complexType>
            </xsd:element>
            <xsd:element name="category" type="CodeType" minOccurs="0" />
            <xsd:element name="code" type="CodeType" minOccurs="0" />
            <xsd:element name="properValue" type="xsd:string" minOccurs="0" />
            <xsd:element name="resultValueDefinition" minOccurs="0">
              <xsd:complexType>
                <xsd:sequence>
                  <xsd:element name="dataType" type="xsd:string" minOccurs="0"
/>

                  <xsd:element name="digits" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                  <xsd:element name="inputControl" type="xsd:string"

                  <xsd:element name="format" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                  <xsd:element name="unit" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                  <xsd:element name="valueRange" type="MinMaxType"

                  <xsd:element name="selectList" minOccurs="0">
                    <xsd:complexType>
                      <xsd:sequence>
                        <xsd:element name="item" minOccurs="0"

                        <xsd:complexType>
                          <xsd:attribute name="value" type="xsd:string"

                          <xsd:attribute name="valueDisplay" type="xsd:string"

                        </xsd:complexType>
                      </xsd:element>
                    </xsd:sequence>
                  </xsd:complexType>
                </xsd:element>
                <xsd:element name="required" type="xsd:string" minOccurs="0"
/>

                <xsd:element name="rounding" type="xsd:string" minOccurs="0"

                <xsd:element name="allowInvalidValue" type="xsd:string"

                <xsd:element name="visibleCondition" type="xsd:string"

                <xsd:element name="autoCalc" type="xsd:string" minOccurs="0"

                <xsd:element name="calcFormula" type="xsd:string"

                <xsd:element name="inputUserRestriction" type="xsd:string"

                <xsd:element name="approval" type="xsd:string" minOccurs="0"

            </xsd:sequence>
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
      </xsd:sequence>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>

```



```

minOccurs="0" />
        <xsd:element name="description" type="xsd:string"
        </xsd:sequence>
        </xsd:complexType>
    </xsd:element>

    <xsd:element name="execution" minOccurs="0"
    <xsd:complexType>
        <xsd:sequence>
            <xsd:element name="status" type="xsd:string" />
            <xsd:element name="author" type="AuthorType" />
            <xsd:element name="observationResult" minOccurs="0"
            <xsd:complexType>
                <xsd:attribute name="value" type="xsd:string"
                <xsd:attribute name="unit" type="xsd:string" />
                <xsd:attribute name="datetime" type="xsd:string" />
            </xsd:complexType>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="revised" type="RevisedType"
    </xsd:sequence>
    </xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:element name="task" minOccurs="0">
    <xsd:complexType>
        <xsd:sequence>
            <xsd:element name="category" type="xsd:string" />
            <xsd:element name="code" type="CodeType" />
            <xsd:element name="planDate" type="xsd:string" minOccurs="0"
        />
        <xsd:element name="performedDate" type="xsd:string"
        <xsd:element name="orderType" type="xsd:string"
        <xsd:element name="execution" minOccurs="0">
            <xsd:complexType>
                <xsd:sequence>
                    <xsd:element name="status" type="xsd:string" />
                    <xsd:element name="author" type="AuthorType" />
                </xsd:sequence>
            </xsd:complexType>
        </xsd:element>
    </xsd:sequence>
    </xsd:complexType>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:element name="judgement" minOccurs="0">
    <xsd:complexType>
        <xsd:sequence>
            <xsd:element name="status" type="xsd:string" />
            <xsd:element name="variance" minOccurs="0">
                <xsd:complexType>
                    <xsd:sequence>
                        <xsd:element name="subjective" type="xsd:string"
                        <xsd:element name="objective" type="xsd:string" minOccurs="0"
                    />
                    <xsd:element name="assessment" type="xsd:string"
                    <xsd:element name="plan" type="xsd:string" minOccurs="0" />
                </xsd:sequence>
            </xsd:complexType>
        </xsd:sequence>
    </xsd:complexType>

```

```

</xsd:element>
<xsd:element name="achievement" minOccurs="0">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="item" maxOccurs="unbounded">
        <xsd:complexType>
          <xsd:sequence>
            <xsd:element name="value" type="xsd:string"
minOccurs="0" />
            <xsd:element name="valueDisplay" type="xsd:string"
minOccurs="0" />
            <xsd:element name="revised" type="RevisedType"
minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
          </xsd:sequence>
          <xsd:attribute name="name" type="xsd:string"
use="required" />
          <xsd:attribute name="nameDisplay" type="xsd:string" />
        </xsd:complexType>
      </xsd:element>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
  <xsd:element name="author" type="AuthorType" />
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:element name="compAssessment" minOccurs="0">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="text" type="xsd:string" />
      <xsd:element name="author" type="AuthorType" />
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:simpleType name="ePathStatusTypeType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="01" />
    <xsd:enumeration value="02" />
    <xsd:enumeration value="12" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:complexType name="IdType">
  <xsd:attribute name="value" type="xsd:string" use="required" />
  <xsd:attribute name="system" type="xsd:string" use="required" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="CodeType">
  <xsd:attribute name="code" type="xsd:string" use="required" />
  <xsd:attribute name="displayName" type="xsd:string" use="required" />
  <xsd:attribute name="codeSystem" type="xsd:string" use="required" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="TimePeriodType">
  <xsd:attribute name="low" type="xsd:string" use="required" />

```

```
<xsd:attribute name="high" type="xsd:string" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="DaysPeriodType">
  <xsd:attribute name="low" type="xsd:string" />
  <xsd:attribute name="high" type="xsd:string" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="MinMaxType">
  <xsd:attribute name="min" type="xsd:string" />
  <xsd:attribute name="max" type="xsd:string" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="AuthorType">
  <xsd:attribute name="datetime" type="xsd:string" use="required" />
  <xsd:attribute name="name" type="xsd:string" use="required" />
  <xsd:attribute name="job" type="xsd:string" use="required" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="RevisedType">
  <xsd:attribute name="datetime" type="xsd:string" />
  <xsd:attribute name="author" type="xsd:string" />
  <xsd:attribute name="note" type="xsd:string" />
  <xsd:attribute name="oldValue" type="xsd:string" />
</xsd:complexType>
</xsd:schema>
```

8. ePath メッセージサンプル

「6.4. データ構造と項目定義」の「表 2 ePath のデータ構造と項目定義」に沿った「適用後パスデータ」のメッセージサンプルを以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<ePathMessage xmlns="http://www.jscp.gr.jp/ePath" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="http://www.jscp.gr.jp/ePath ePathMessage-12.xsd">
  <ePathIdentification>
    <code code="CN15T02103" displayName="RARP（当日手術） ePath NP"
codeSystem="1.2.392.200250.2.2.50.10" />
    <code code="CN15T02103" displayName="RARP（当日手術） ePath NP" codeSystem="LOCAL" />
    <ePathStatusType>12</ePathStatusType>
    <templateVersion>0</templateVersion>
    <facilityTemplateVersion>1</facilityTemplateVersion>
  </ePathIdentification>
  <facility>
    <id>1234567890</id>
    <name>●●病院</name>
  </facility>
  <patient>
    <id>1234567890</id>
    <name use="IDE">
      <family>患者</family>
      <given>太郎</given>
    </name>
    <name use="SYL">
      <family>カンジャ</family>
      <given>タロウ</given>
    </name>
    <administrativeGender>M</administrativeGender>
    <birthDate>19600101</birthDate>
  </patient>
  <admission>
    <clinicalDepartment code="20" displayName="泌尿器科" codeSystem="1.2.392.200250.2.2.2" />
    <clinicalDepartment code="15" displayName="腎・泌尿器科" codeSystem="LOCAL" />
    <disease code="20100074" displayName="限局性前立腺癌" codeSystem="1.2.392.200119.4.101.2" />
    <disease code="C61" displayName="限局性前立腺癌" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.3" />
    <admissionDate>20201225</admissionDate>
    <dischargeDate>20201231</dischargeDate>
    <patientDeathIndicator>N</patientDeathIndicator>
  </admission>
  <ePathApply>
    <basicInformation>
      <id>334792</id>
      <adaptiveCriteria confirmed="1">
        <text>2. 生食を 150ml 注入し、膀胱・尿道吻合部からの漏れがない（術中所見）, 1. 前立腺癌の手術
適応患者</text>
      </adaptiveCriteria>
      <implementationPeriod low="20201225" high="20201231" />
      <scheduledDays>7</scheduledDays>
      <pathEndIndicator>1</pathEndIndicator>
    </basicInformation>
    <event>
      <eventElapsedDays>1</eventElapsedDays>
      <eventName>1 日目</eventName>
      <oatUnit>
        <oatUnitIdentification>
          <id>-01</id>
          <ePathStatusType>12</ePathStatusType>
          <relOATUnitIds>1000059050386</relOATUnitIds>
        </oatUnitIdentification>
      </oatUnit>
    </event>
  </ePathApply>
</ePathMessage>
```

```

</oatUnitIdentification>
<outcome>
  <category code="H" displayName="患者状態" codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.10" />
  <code code="O01390" displayName="循環動態が安定している"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.30" />
  <criticalIndicator>N</criticalIndicator>
  <assessment>
    <assessmentIdentification>
      <ePathStatusType>12</ePathStatusType>
    </assessmentIdentification>
    <category code="19" displayName="バイタルサイン" codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.40" />
    <code code="1900030700" displayName="収縮期血圧【適正值：≧ 90 かつ ≦ 150mmHg】 "
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.50" />
    <properValue>90 以上 And 150 以下</properValue>
    <execution>
      <status>1</status>
      <author datetime="20201225082600" name="●● ●●" job="10" />
      <observationResult value="120" unit="" datetime="20201225082600" />
    </execution>
    <task>
      <category>11</category>
      <code code="0300060" displayName="収縮期血圧" codeSystem="OC" />
      <planDate>20201225</planDate>
      <performedDate>20201225082600</performedDate>
      <execution>
        <status>1</status>
        <author datetime="20201225082600" name="●● ●●" job="10" />
      </execution>
    </task>
  </assessment>
  <assessment>
    <assessmentIdentification>
      <ePathStatusType>12</ePathStatusType>
    </assessmentIdentification>
    <category code="19" displayName="バイタルサイン" codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.40" />
    <code code="1900028900" displayName="拡張期血圧【適正值：< 90mmHg】 "
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.50" />
    <properValue>90 より小さい</properValue>
    <execution>
      <status>1</status>
      <author datetime="20201225082600" name="●● ●●" job="10" />
      <observationResult value="76" unit="" datetime="20201225082600" />
    </execution>
    <task>
      <category>11</category>
      <code code="0300070" displayName="拡張期血圧" codeSystem="OC" />
      <planDate>20201225</planDate>
      <performedDate>20201225082600</performedDate>
      <execution>
        <status>1</status>
        <author datetime="20201225082600" name="●● ●●" job="10" />
      </execution>
    </task>
  </assessment>
  <assessment>
    <assessmentIdentification>
      <ePathStatusType>12</ePathStatusType>
    </assessmentIdentification>
    <category code="19" displayName="バイタルサイン" codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.40" />
    <code code="1900034300" displayName="脈拍数【適正值：≧ 50 かつ ≦ 100 回/分】 "
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.50" />
    <properValue>50 以上 And 100 以下</properValue>
    <execution>
      <status>1</status>
      <author datetime="20201225082600" name="●● ●●" job="10" />

```

```

        <observationResult value="72" unit="" datetime="20201225082600" />
    </execution>
    <task>
        <category>11</category>
        <code code="0300040" displayName="脈拍数" codeSystem="OC" />
        <planDate>20201225</planDate>
        <performedDate>20201225082600</performedDate>
        <execution>
            <status>1</status>
            <author datetime="20201225082600" name="●● ●●" job="10" />
        </execution>
    </task>
</assessment>
<judgement>
    <status>3</status>
    <author datetime="20201225145659" name="●● ●●" job="指定なし" />
</judgement>
</outcome>
</oatUnit>
<oatUnit>
    <oatUnitIdentification>
        <id>-01</id>
        <ePathStatusType>12</ePathStatusType>
        <relOATUnitIds>1000059050387</relOATUnitIds>
    </oatUnitIdentification>
    <outcome>
        <category code="H" displayName="患者状態" codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.10" />
        <code code="O01260" displayName="呼吸状態が安定している"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.30" />
        <criticalIndicator>N</criticalIndicator>
        <assessment>
            <assessmentIdentification>
                <ePathStatusType>12</ePathStatusType>
            </assessmentIdentification>
            <category code="34" displayName="呼吸" codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.40" />
            <code code="3400063600" displayName="呼吸困難がない"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.50" />
            <properValue>なしと等しい</properValue>
        <execution>
            <status>1</status>
            <author datetime="20201225151000" name="●● ●●" job="10" />
            <observationResult value="なし" unit="" datetime="20201225151000" />
        </execution>
    </task>
        <category>11</category>
        <code code="0700351" displayName="呼吸困難" codeSystem="OC" />
        <planDate>20201225</planDate>
        <performedDate>20201225151000</performedDate>
        <execution>
            <status>1</status>
            <author datetime="20201225151000" name="●● ●●" job="10" />
        </execution>
    </task>
</assessment>
<judgement>
    <status>3</status>
    <author datetime="20201231" name="●● ●●" job="指定なし" />
</judgement>
</outcome>
</oatUnit>
<compAssessment>
    <text> </text>
    <author datetime="20201231235959" name="●● ●●" job="" />
</compAssessment>
</event>

```

```

<event>
  <eventElapsedDays>2</eventElapsedDays>
  <eventName>2 日目</eventName>
  <oatUnit>
    <oatUnitIdentification>
      <id>-01</id>
      <ePathStatusType>12</ePathStatusType>
      <relOATUnitIds>1000059050410</relOATUnitIds>
    </oatUnitIdentification>
    <outcome>
      <category code="H" displayName="患者状態" codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.10" />
      <code code="O00640" displayName="排泄に問題がない" codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.30" />
      <criticalIndicator>N</criticalIndicator>
      <assessment>
        <assessmentIdentification>
          <ePathStatusType>12</ePathStatusType>
        </assessmentIdentification>
        <category code="15" displayName="ドレーン-排液量-全身"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.40" />
        <code code="1500021700" displayName="ドレーン排液量【適正值：≦ 100mL/h】"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.50" />
        <properValue>100 以下</properValue>
        <execution>
          <status>1</status>
          <author datetime="20201226063700" name="●● ●●" job="10" />
          <observationResult value="50" unit="" datetime="20201226063700" />
        </execution>
        <task>
          <category>11</category>
          <code code="0600600" displayName="ドレーン排液量 1" codeSystem="OC" />
          <planDate>20201226</planDate>
          <performedDate>20201226063700</performedDate>
          <execution>
            <status>1</status>
            <author datetime="20201226063700" name="●● ●●" job="10" />
          </execution>
        </task>
      </assessment>
      <assessment>
        <assessmentIdentification>
          <ePathStatusType>12</ePathStatusType>
        </assessmentIdentification>
        <category code="11" displayName="ドレーン-排液性状-全身"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.40" />
        <code code="1100016700" displayName="ドレーン排液性状【適正值：＝ 淡血性|淡々血性|乳び色|
漿液性】" codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.50" />
        <properValue>淡血性|淡々血性|乳び色|漿液性と等しい</properValue>
      </assessment>
      <judgement>
        <status>3</status>
        <author datetime="20201226235959" name="●● ●●" job="指定なし" />
      </judgement>
    </outcome>
  </oatUnit>
  <oatUnit>
    <oatUnitIdentification>
      <id>-01</id>
      <ePathStatusType>12</ePathStatusType>
      <relOATUnitIds>1000059050411</relOATUnitIds>
    </oatUnitIdentification>
    <outcome>
      <category code="H" displayName="患者状態" codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.10" />
      <code code="O02740" displayName="疼痛のコントロールができています"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.30" />
      <criticalIndicator>N</criticalIndicator>

```

```

<assessment>
  <assessmentIdentification>
    <ePathStatusType>12</ePathStatusType>
  </assessmentIdentification>
  <category code="60" displayName="疼痛" codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.40" />
  <code code="6000135500" displayName="疼痛（NRS）【適正值：≤3】"
codeSystem="1.2.392.200250.3.2.200.50" />
  <properValue>3 以下</properValue>
  <execution>
    <status>1</status>
    <author datetime="20201226002500" name="●● ●●" job="10" />
    <observationResult value="0" unit="" datetime="20201226002500" />
  </execution>
  <task>
    <category>11</category>
    <code code="0702050" displayName="疼痛（NRS）" codeSystem="OC" />
    <planDate>20201226</planDate>
    <performedDate>20201226002500</performedDate>
    <execution>
      <status>1</status>
      <author datetime="20201226002500" name="●● ●●" job="10" />
    </execution>
  </task>
</assessment>
<judgement>
  <status>2</status>
  <variance>
    <subjective>
      【観察項目実績値】
      疼痛（NRS）：6
      疼痛性質：ズキズキ
      【観察項目実績値】
      疼痛（NRS）：6
      タイミング：安静時体動時</subjective>
    <plan>薬剤使用
      ロキソプロフェン錠 60mg 1 錠</plan>
    </variance>
    <author datetime="20201226095403" name="●● ●●" job="10" />
  </judgement>
</outcome>
</oatUnit>
<compAssessment>
  <text> </text>
  <author datetime="20201231235959" name="●● ●●" job="" />
</compAssessment>
</event>
</ePathApply>
</ePathMessage>

```


9. 仕様策定メンバー

本仕様の策定にあたっては、日本医療情報学会標準策定・維持管理部会の下に「ePath のデータ要素と構造に関する標準化検討WG」を設置し、実施した。

WGメンバーは以下の通りである。

座長：山下貴範（九州大学病院）

青木美和（医療データ活用基盤整備機構）、井上貴宏（保健医療福祉情報システム工業会）、岡田美保子（医療データ活用基盤整備機構）、木村雅彦（日本アイ・ビー・エム株式会社）、清水俊郎（株式会社SBS情報システム）、中熊英貴（済生会熊本病院）、中島直樹（九州大学病院）、二川康秀（日本電気株式会社）、松本崇志（株式会社ソフトウェア・サービス）、吉田竜一（株式会社SBS情報システム）、若田好史（徳島大学病院）、和田叔子（富士通株式会社）(50 音順)

以下余白

付録 1. コード一覧

「6.4. データ構造と項目定義」の「表 2 ePath のデータ構造と項目定義」にて使用しているコードの定義を示す。

(1) 標準クリニカルパスコード

コード体系 OID	1.2.392.200250.2.2.50.10	クリニカルパスを表すコード・名称
値	内容（表示名）	備考
「標準クリニカルパスコード」にて定義されたコード値、名称を用いる。 定義内容は 3. 引用規格・引用文献「標準クリニカルパスコード」で示すドキュメントを参照のこと。		

(2) パス状態区分

コード体系 OID	1.2.392.200250.2.2.50.20	パスデータの状態を表す区分
値	内容（表示名）	備考
01	ひな型パス	疾患別のミニマム要件を定義したひな型となるパス
02	施設パス	共通のひな型を当該施設用に調整した患者適用前の状態
12	適用後パス	患者の実施・結果・評価を記述した状態

(3) 医療機関コード

コード体系 OID	1.2.392.200250.2.2.1	医療機関を識別するコード・名称
値	内容（表示名）	備考
全国の保険医療機関それぞれの施設ごとに振られた、都道府県番号（2桁）＋点数表番号（1桁）＋郡市区番号（2桁）＋医療機関等番号（4桁）＋チェックディジット（1桁）からなる 10 桁の数値コード。 点数表番号は、医科は 1、歯科は 3 となっており、下 7 桁分の値は地方厚生（支）局にて公示されている医療機関一覧表の医療機関番号を用い、これらを結合した 10 桁番号と医療機関名称をそれぞれコード値、名称として適用する。		

(4) 性別

コード体系 OID	2.16.840.1.113883.5.1	
値	内容（表示名）	備考
M	男性	
F	女性	
UN	不明	

(5) 診療科

コード体系 OID	1.2.392.200250.2.2.2	診療科コード
値	内容（表示名）	備考
<p>「SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0」にて定義された 2 ケタ科および 2 ケタ名称をコード値、名称として用いる。</p> <p>定義内容は「SS-MIX2 ストレージ仕様書および構築ガイドライン（日本医療情報学会）」の「SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 Ver.1.2g コード表」に記載されている「SS-MIX2 統一診療科コード表 V1.0」（#0069 診療部門）を参照のこと。</p>		

(6) YN 識別

コード体系 OID	1.2.392.200250.2.2.50.60	死亡有無、クリティカル・インディケータ等に適用する「はい」「いいえ」を識別する区分
値	内容（表示名）	備考
Y	Yes	
N	No	

(7) パス終了区分

コード体系 OID	1.2.392.200250.2.2.50.70	パスの終了状態を表す区分
値	内容（表示名）	備考
1	終了	
2	中止	

(8) MEDIS-DC 標準病名マスタ管理番号

コード体系 OID	1.2.392.200119.4.101.2	ICD10 対応標準病名マスターにおいて、病名表記を一意に識別する管理コード・名称
値	内容（表示名）	備考
<p>「ICD10 対応標準病名マスター」の病名基本テーブルの病名管理番号、病名表記をコード値、名称として用いる。</p> <p>定義内容は 3. 引用規格・引用文献「ICD10 対応標準病名マスター」で示すドキュメントを参照のこと。</p>		

(9) ICD10 標準病名コード

コード体系 OID	2.16.840.1.113883.6.3	WHO 国際疾病分類第 10 版 (ICD10) の病名コード・名称
値	内容 (表示名)	備考
<p>「ICD10 対応標準病名マスター」の病名基本テーブルの ICD10 - 2013、病名表記をコード値、名称として用いる。</p> <p>定義内容は 3. 引用規格・引用文献「ICD10 対応標準病名マスター」で示すドキュメントを参照のこと。</p> <p>「ICD10 対応標準病名マスター」の代わりに厚生労働省サイトの「疾病、傷害及び死因の統計分類」ページで公開されている「ICD-10 (2013 年版) 準拠基本分類表」を用いることができる。その場合は、「コード」列の値よりピリオドを除去した英字 1 桁+数値 3 桁の値、コード名をコード値、名称として用いる。</p>		

(10) BOM 大分類コード

コード体系 OID	1.2.392.200250.3.2.200.10	BOM 大分類コード・名称
値	内容 (表示名)	備考
<p>「患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター」にて定義された大分類コード、大分類名称をコード値、名称として用いる。</p> <p>定義内容は 3. 引用規格・引用文献「患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター」で示すドキュメントを参照のこと。</p>		

(11) BOM 中分類コード

コード体系 OID	1.2.392.200250.3.2.200.20	BOM 中分類コード・名称
値	内容 (表示名)	備考
<p>「患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター」にて定義された中分類コード、中分類名称をコード値、名称として用いる。</p> <p>定義内容は 3. 引用規格・引用文献「患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター」で示すドキュメントを参照のこと。</p>		

(12) BOM アウトカムコード

コード体系 OID	1.2.392.200250.3.2.200.30	BOM アウトカムコード・名称
値	内容 (表示名)	備考
<p>「患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター」にて定義されたアウトカムコード、アウトカム名称をコード値、名称として用いる。</p> <p>定義内容は 3. 引用規格・引用文献「患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター」で示すドキュメントを参照のこと。</p>		

(13) BOM 観察項目分類コード

コード体系 OID	1.2.392.200250.3.2.200.40	BOM 観察項目分類コード・名称
値	内容（表示名）	備考
「患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター」にて定義された観察項目分類コード、観察項目分類名称をコード値、名称として用いる。 定義内容は 3. 引用規格・引用文献「患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター」で示すドキュメントを参照のこと。		

(14) BOM 観察項目コード

コード体系 OID	1.2.392.200250.3.2.200.50	BOM 観察項目コード・名称
値	内容（表示名）	備考
「患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター」にて定義された観察項目コード、観察項目名称をコード値、名称として用いる。 定義内容は 3. 引用規格・引用文献「患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター」で示すドキュメントを参照のこと。		

(15) タスク分類

コード体系 OID		1.2.392.200250.2.2.50.150.1（第1階層） 1.2.392.200250.2.2.50.150.2（第2階層）	タスクのカテゴリを表す分類コード
値		内容（表示名）	備考
第1階層	第2階層	第1階層か第2階層のコードのいずれかを用いる。可能ならば粒度が細かな第2階層のコードを利用するのが望ましい。	
TP		治療	
	TPPR	処方	
	TPIN	注射	
	TPRE	レジメン	
	TPTR	処置	
	TPOP	手術	
	TPBT	輸血	
	TPRH	リハビリ	
	TPDI	透析	
	TPRT	放射線治療	
	TPCI	条件付き指示（必要時・対症）	
EX		検査	
	EXSP	検体検査	
	EXMB	細菌検査	
	EXPH	生理検査	
	EXEN	内視鏡検査	

コード体系 OID		1.2.392.200250.2.2.50.150.1 (第1階層) 1.2.392.200250.2.2.50.150.2 (第2階層)	タスクのカテゴリを表す分類コード
値		内容 (表示名)	備考
第1階層	第2階層	第1階層か第2階層のコードのいずれかを用いる。可能ならば粒度が細かな第2階層のコードを利用するのが望ましい。	
	EXIM	画像診断	
	EXPA	病理診断	
ML		食事 (栄養)	
	MLBR	朝	
	MLLU	昼	
	MLSU	夕	
NO		観察項目	
		尿量	第2階層のコード値はMEDIS-DC看護実践マスター観察編のコードを使用する
		ドレーン排液量	
		便回数	
		(個別の観察項目)	
NC		ケア項目	
	NC01	清潔ケア	第2階層のコードはMEDIS-DC看護実践マスター行為編の「A001:日常生活ケア」下の第2階層のコードを使用する
	NC02	整容・更衣ケア	
	NC03	栄養・食事ケア	
	NC04	排泄ケア	
	NC05	起居動作支援	
	NC06	移動ケア	
	NC07	安全ケア	
	NC08	睡眠ケア	
	NC09	苦痛の予防・軽減ケア	
	NC10	呼吸ケア	
	NC11	循環ケア	
	NC12	病床・室内環境ケア	
	NC13	意思疎通ケア	
	NC14	発育・発達ケア	
	NC15	心理的ケア	
	NC16	リフレッシュケア	
	NC17	行動制限時のケア	
EG		教育・指導・説明	
	EGNC	栄養指導	
	EGCS	指導	

コード体系 OID		1.2.392.200250.2.2.50.150.1 (第1階層) 1.2.392.200250.2.2.50.150.2 (第2階層)	タスクのカテゴリを表す分類コード
値		内容 (表示名)	備考
第1階層	第2階層	第1階層か第2階層のコードのいずれかを用いる。可能ならば粒度が細かな第2階層のコードを利用するのが望ましい。	
	EGIC	IC	
	EGEP	看護 E プラン	
AL		活動・安静度	
MD		医療文書	

(16) 実施状況

コード体系 OID		1.2.392.200250.2.2.50.160	タスクの実施状況を表す区分
値		内容 (表示名)	備考
1		実施	
2		未実施	

(17) 評価状況

コード体系 OID		1.2.392.200250.2.2.50.170	アウトカムや観察項目の評価状況を表す区分
値		内容 (表示名)	備考
1		達成	
2		未達成 (バリエーション)	
3		未評価	

(18) 入外区分

コード体系 OID			患者の入院・外来を表す区分
値		内容 (表示名)	備考
I		入院	
O		外来	